

# 2007年度活動報告書

財団法人北海道環境財団  
北海道地球温暖化防止活動推進センター

## はじめに

2007年度の事業報告をお届けします。

ここにまとめられた事業を拾ってみますと、まず、環境セミナー事業としては、たとえば“豊かな海、オホーツク海に迫る危機とは”、“地球温暖化対策セミナー 2”、同じく“地球温暖化シンポジウム”、“石 弘之教授最終講演－地球環境と人類の行方”など気候変動に関わるものが目に付きます。私も“湿原の今を読み解く”、“釧路沈没”など地球温暖化に関するテーマでの講演を行いました。いずれも多く聴衆が集まって盛況だったのです。

広報啓発活動でも企画展示として“北極異変－北極からのメッセージ”ならびに写真展－“岩合光昭スペシャル－地球温暖化の目撃者”などが多くの来場者の興味を惹きました。

これらはまさに現在の地球環境の大きな変動への関心の高さを示すものとみてよいでしょう。

年度末にかけては石油製品、特にガソリンの値上がりがこれまた関心事でした。いったい、これからどうなるのだろう、生活への影響は、という危機感もさることながら、これも気候変動への対処と結びつけて考えるべきなのではないか、と市民が思うようになれば一つの警鐘としての意味はさらに大きいのではないかと思います。

次なる年にテーマとするべきものはさまざまです。私は“水”もその一つになるのではないかと考えています。2007年度の報告をまとめるにあたり、振り返ってみての感想として。

財団法人 北海道環境財団  
理事長



## 目次

|          |  |           |
|----------|--|-----------|
| <b>1</b> | <b>環境保全活動支援事業</b> . . . . .  | <b>1</b>  |
| 1-1      | 北海道環境サポートセンターの運営   |           |
| 1-1-1    | サポートセンターの業務  |           |
| 1-1-2    | 利用状況   |           |
| 1-1-3    | 視察団体の受入  |           |
| 1-1-4    | 団体展示   |           |
| <b>2</b> | <b>情報収集提供事業</b> . . . . .  | <b>5</b>  |
| 2-1      | 機関紙「T G A L」の発行  |           |
| 2-2      | ホームページによる情報提供  |           |
| 2-3      | 電子メールによる情報提供   |           |
| 2-4      | 図書資料整備・貸出業務  |           |
| 2-5      | 環境関連ビデオ・DVDの収集、提供  |           |
| 2-6      | 環境保全活動団体の情報収集、提供   |           |
| 2-7      | 環境情報関連施設の情報収集、提供   |           |
| 2-8      | 環境関連チラシ、パンフレット類の収集、提供  |           |
| 2-9      | 環境関連情報の照会対応  |           |
| <b>3</b> | <b>環境学習推進事業</b> . . . . .  | <b>7</b>  |
| 3-1      | 環境セミナー事業   |           |
| 3-1-1    | 地球温暖化対策セミナー：豊かな海、オホーツク海に迫る危機とは   |           |
| 3-1-2    | 第8回水俣病記念講演会－生命へのまなざしを問われて  |           |
| 3-1-3    | 「でんきを消して、スローな夜を」～キャンドルの灯りに思いを寄せて～  |           |
| 3-1-4    | トークナイト：湿原の今を読み解く   |           |
| 3-1-5    | くしろエコ・フェア2007記念講演会：<br>「釧路沈没」～温暖化が進むと北海道東部の湿原はどうなるか                        |           |
| 3-1-6    | なまら便利なバスマップ改定記念  |           |
| 3-1-7    | 地球温暖化対策セミナー2：物理学の権威が語る～地球温暖化の真実～   |           |
| 3-1-8    | 「いま、熱帯雨林で何が起きているか」～森林火災、地球温暖化、水環境を語る～                                      |           |
| 3-1-9    | 市民の集い「水俣病・出会いの旅～訪問から44年～」  |           |
| 3-1-10   | エコトーク映画会   |           |
| 3-1-11   | 地球温暖化シンポジウム  |           |
| 3-1-12   | 第7回「野生生物と交通」研究発表会  |           |
| 3-1-13   | 「地球環境と人類の行方」～石弘之先生最終講演～  |           |
| 3-1-14   | 地球温暖化対策地域協議会と連携したセミナー開催（6-2参照）   |           |
| 3-2      | 子ども向け普及啓発プログラムの企画・実施（6-3-2参照）  |           |
| 3-3      | 校外学習への対応   |           |
| <b>4</b> | <b>広報啓発事業</b> . . . . .  | <b>14</b> |
| 4-1      | 移動推進センター事業   |           |
| 4-2      | 企画展示   |           |
| 4-2-1    | アースデイEZO2007展  |           |
| 4-2-2    | さっぽろキャンドルナイト2007展  |           |
| 4-2-3    | 上空から地球を眺めて ～人工衛星と飛行機から環境を見る～   |           |
| 4-2-4    | 北極異変「北極からのメッセージ」～地球温暖化の最前線を歩く  |           |
| 4-2-5    | 立命館慶祥高校 モルディブ・ガラパゴス研修旅行報告パネル展  |           |
| 4-2-6    | 「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク『水俣病写真展』   |           |
| 4-2-7    | アサヒビールタンチョウフォトコンテスト入賞作品展示会及び<br>「釧路湿原で今、行われていること～自然再生のために～」 釧路湿原自然再生事業パネル展 |           |
| 4-2-8    | 北海道ウォームビズ2007展   |           |
| 4-2-9    | 写真展 地球温暖化の目撃者 岩合光昭スペシャル  |           |

- 4-3 都道府県センター普及啓発・広報事業（6-3-1参照）
- 4-4 北国の！冬の省エネキャンペーン（6-3-4参照）

**5 各種環境保全活動との連携事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20**

- 5-1 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務
- 5-2 地球温暖化防止活動推進員との協働事業
- 5-3 さっぽろキャンドルナイト2007実行委員会への参画
- 5-4 Earth day EZO 2007への参画
- 5-5 事業者との連携
- 5-6 北海道環境政策コミュニケーションツアー2007「つなげ！道産環境力」

**6 地球温暖化防止活動推進センター事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23**

- 6-1 地球温暖化防止活動推進員および連絡会の活動支援
- 6-2 地球温暖化対策地域協議会の設立・活動支援、連携事業
- 6-3 地球温暖化防止啓発事業
  - 6-3-1 都道府県センター普及啓発・広報事業（環境省補助）
  - 6-3-2 啓発プログラムの企画・実施
  - 6-3-3 北海道ウォームビズ2007
  - 6-3-4 北国の！冬の省エネキャンペーン（経済産業省北海道経済産業局委託事業）
  - 6-3-5 映画「不都合な真実」感想募集プロジェクト
- 6-4 温暖化防止一村一品応援プロジェクト
- 6-5 地球温暖化防止活動推進センターとしての各種ネットワークへの参画

**7 受託事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32**

- 7-1 平成19年度北海道地球温暖化防止活動推進員研修及び温暖化対策『一村一品・知恵の環づくり』事業委託業務
- 7-2 平成19年度北海道札幌市地域におけるESTモデル事業推進のための普及啓発委託業務
- 7-3 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務
- 7-4 平成19年度企業の社会的責任（CSR）に基づく環境パートナーシップ促進業務
- 7-5 平成19年度「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」広報等業務
- 7-6 平成19年度自然再生事業再生普及行動計画運営管理業務
- 7-7 平成19年度エネルギー環境総合戦略調査費等委託家庭における省エネ手法向上調査事業
- 7-8 「ほくでん環境講演会」開催に伴う企画・運営業務
- 7-9 第五回ほくでん環境ステークホルダーミーティング 企画・運営に関する業務委託
- 7-10 平成19年度 千歳市こども環境教室実施業務

**資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36**



# 1 環境保全活動支援事業

## 1-1 北海道環境サポートセンターの運営

当財団では、環境保全活動の支援や情報交流の拠点として、1997年10月JR札幌駅北側に「北海道環境サポートセンター」(以下、「サポートセンター」という。)を開設し、2006年10月に現在の場所へ移転して運営しています。

### 1-1-1 サポートセンターの業務

[場所] 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4F  
(JR札幌駅南口から徒歩約2～3分)

[開館] 10:00～18:00(多目的ホールは21:00まで貸出可)

[休館日] 日曜日、祝日、年末年始  
(2008年4月以降は、土曜・日曜日、祝日、年末年始)

[内容]

#### ○相談カウンター

環境に関連する各種相談及び照会にお答えしています。また、図書や普及啓発資材などの各種貸出の受付も行っています。

#### ○図書資料コーナー

環境関連図書資料約7,800冊、環境関連の定期刊行物45種類を自由にご覧いただけます。市販の図書だけではなく、NGO刊行物や行政資料等も揃えており、一部を除いては貸出(一人につき2冊2週間以内)も行っています。

※司書の資格を有するボランティアスタッフに、図書の整理を週に一度お願いしています。加えて選書方法や配架方法に関しての専門的なご意見も頂きながら、図書コーナーの運営を行っています。

#### ○情報交流コーナー

活動団体等の広報流通媒体として活用されており、環境や市民活動に関した行事やお知らせなど、サポートセンターに持ち込まれる情報を掲示しています。また、道内外の環境に関する活動団体や環境学習施設についての資料もご覧いただけます。

#### ○展示コーナー

当財団主催展示のほか、道内の環境保全団体がその活動を紹介する展示も行っています。

#### ○情報検索コーナー

インターネット用にパソコンを2台開放しています。  
また、ビデオ及びDVDの閲覧もできます。

#### ○各種貸出

##### ・多目的ホール

環境保全活動に関わる会議、セミナー、展示などにご利用いただけます。DVD、スライド、ビデオ、プロジェクターなどの機材もご利用になれます。(42名収容可、利用時間:開館日の10:00～21:00、1時間単位で予約を受け付けています。利用料:500円/時)

##### ・印刷機

軽印刷機(リソグラフ)を無料で開放しています。環境保全活動団体の会報や行事案内等の印刷にご利用いただけます(用紙は利用者負担/要事前申し込み)。

##### ・普及啓発資材

ビデオ、DVD、パネル、学習支援キットなどを、環境保全に係る催しや研修会、学習会等でご利用いただけます。貸出資材の詳細については、サポートセンターまでお問い合わせください。



## 1-1-2 利用状況

ビルの1階に開設していたサポートセンターを、一昨年ビルの4階に移転するなど、場所的な利便性は減少しましたが、利用者のニーズに適応した施設運営やPRを行い、来館者数、各種貸出の利用件数は前年度と比較して増加しています。

### (1) 来館者の状況

2007年度のサポートセンターの開館日数は294日で、この間の来館者数は14,764人(開館日平均約50人)でした。1999年以降の来館者数の推移は下記のとおりです。

(単位：人)

|       | 1999年度 | 2000年度 | 2001年度 | 2002年度 | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| サタデー  | 5,046  | 2,821  | 3,009  | 4,830  | 2,419  | 2,233  | 2,751  | 1,980  | 1,494  |
| ホール   | 4,881  | 5,482  | 5,321  | 4,920  | 4,547  | 3,367  | 3,428  | 2,957  | 4,566  |
| 一般来館者 | 8,889  | 9,256  | 11,504 | 11,481 | 11,457 | 11,252 | 8,137  | 8,821  | 8,704  |
| 来館者数  | 18,816 | 17,559 | 19,834 | 21,231 | 18,423 | 16,852 | 14,316 | 13,758 | 14,764 |

### (2) 多目的ホールの利用状況

今年度の多目的ホールの利用状況は207件、850時間でした。

|    | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 件数 | 212件   | 184件   | 204件   | 167件   | 207件   |
| 時間 | 713時間  | 698時間  | 875時間  | 622時間  | 850時間  |

### (3) 印刷機の利用状況

今年度の利用実績は132件、約70,411枚でした。

|    | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 件数 | 214件   | 146件   | 115件   | 109件   | 132件   |
| 枚数 | 128千枚  | 98千枚   | 71千枚   | 128千枚  | 70千枚   |

### (4) 普及啓発資料の貸出状況

今年度の貸出物及び貸出状況は次のとおりです。

|               | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| ビデオ(119種類)    | 44件    | 72件    | 64件    |
| パネル(2種類各1セット) | 19件    | 9件     | 12件    |
| 学習支援キット       | 54件    | 61件    | 83件    |

### (5) 図書・資料の貸出状況

今年度の貸出状況は次のとおりです。

利用登録者数993人

|        | 2003年度 | 2004年度 | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 個人貸出件数 | 1137件  | 808件   | 663件   | 522件   | 675件   |
| 団体貸出件数 | 6件     | 8件     | 9件     | 6件     | 7件     |

### 1-1-3 視察団体の受入

サポートセンターは、開設以来、数多くの団体等の視察を受け入れています。今年度は、以下の10団体175名のご来訪をいただきました。

(2007年)

|     |     |                 |     |
|-----|-----|-----------------|-----|
| 4月  | 12日 | 感動創研            | 25名 |
| 7月  | 9日  | 新潟県上越市議会厚生常任委員会 | 13名 |
| 7月  | 19日 | 青森県八戸市生涯福祉課     | 7名  |
| 8月  | 20日 | 北海道経営者協会        | 4名  |
| 8月  | 21日 | 島根県建設環境委員会      | 15名 |
| 9月  | 3日  | 静岡県県民部環境局地球環境室  | 2名  |
| 9月  | 14日 | ソフトウェア興業(株)     | 19名 |
| 12月 | 5日  | JA帯広かわにし        | 45名 |

(2008年)

|    |     |            |     |
|----|-----|------------|-----|
| 1月 | 9日  | 帯広農協広野支部   | 20名 |
| 1月 | 10日 | JA帯広清川南青年部 | 25名 |

### 1-1-4 団体展示

道内で活動する環境保全活動やその団体について、広報、周知、啓発手段の一つとして、センター内の中央展示スペースを一部開放し、ご利用いただいています。今年度は、以下の10件の展示を行いました。なお、展示をご希望の団体は、環境サポートセンターまでお問い合わせください。

#### ■第9回高校生環境学習ポスターセッション作品展

[展示期間] 2007年5月7日(月)～5月19日(土)

[展示主催] 環境学習フォーラム北海道



第9回高校生環境学習ポスターセッション作品展

#### ■環境マンガ展

[展示期間] 2007年6月1日(金)～6月15日(金)

[展示主催] ほっかいどうまんが集団

#### ■手作おもちゃの展示と修理

[展示期間] 2007年7月20日(金)

[展示主催] おもちゃクリニック

#### ■訪日記念展示「コスタリカ固有民族(ブルンカ)の工芸品」

[展示期間] 2007年9月11日(火)

[展示主催] エコ・ネットワーク



訪日記念展示「コスタリカ固有民族(ブルンカ)の工芸品」

#### ■北海道認定リサイクル製品展示

「北海道リサイクル認定製品でガーデニング！」

[展示期間] 2007年9月13日(木)～9月21日(金)

[展示主催] 北海道環境生活部環境局循環型社会推進課

- 北海道認定リサイクル製品展示「冬のくらし！」
- [展示期間] 2007年10月19日(金)～10月29日(月)
- [展示主催] 北海道環境生活部環境局循環型社会推進課



北海道認定リサイクル製品展示「冬のくらし！」

- 「省エネ エコメッセ」
- [展示期間] 2007年12月1日(土)～2008年1月5日(土)
- [展示主催] NPO法人北海道グリーンファンド

- カラスの生活ービジュアル展ー
- [展示期間] 2008年2月5日(火)～2月9日(土)
- [展示主催] 札幌カラス研究会

- ガキ大将すこーれ写真展
- [展示期間] 2008年2月16日(土)～2月28日(木)
- [展示主催] ガキ大将すこーれ



「省エネ エコメッセ」

- レイチェル・カーソンパネル展・札幌
- [展示期間] 2008年3月4日(火)～3月29日(土)
- [展示主催] レイチェル・カーソン北海道の会
- [展示協力] レイチェル・カーソン日本協会



ガキ大将すこーれ写真展

## 2 情報収集提供事業

### 2-1 機関紙「TGAL」の発行

道内の環境保全団体などから寄せられる情報や、環境サポートセンターからのお知らせ、2007年7月から新たに開始した職員によるコラムなどを主な内容として、毎月道内の環境保全団体、環境関連施設や機関、賛助会員などに無料でお配りしています。1997年12月に印刷部数500部で創刊以来、2007年度末で124号を数え、現在の印刷部数は毎月約2800部です。

2007年5月には、より読みやすい紙面づくりを目指したデザインの見直し、ほか、発行に伴う作業・業務の効率化を図りました。これからも一層の内容の充実を図るとともに、紙面—ウェブ—メールという複数媒体を有効に組み合わせた総合的な情報の発信に努めていきます。

※TGALは、ウェブ、メールでもご覧になれます。

ウェブでのTGAL閲覧について：

[http://www.heco-spc.or.jp/news/about/online\\_tgal.html](http://www.heco-spc.or.jp/news/about/online_tgal.html)

メールでのTGAL受取について：

[http://www.heco-spc.or.jp/news/about/news\\_00.html](http://www.heco-spc.or.jp/news/about/news_00.html)



### 2-2 ホームページによる情報提供

当財団が有する情報や環境サポートセンターからのお知らせ、道内の環境保全活動団体などから寄せられる情報をホームページで公開、発信しています。2007年度はコンテンツの一層の充実を目的として、スタッフが執筆するコラムや、主催で行った講演記事などの掲載ページを作成しました。

ホームページの訪問者数は394,384件(一日平均では約1,080件)と、多くの皆さんにご利用いただいています。今後も当財団の情報ツールの核として、より一層の内容の充実に取り組んでいきます。

※財団法人北海道環境財団/北海道環境サポートセンター

ホームページ：<http://www.heco-spc.or.jp/>



### 2-3 電子メールによる情報提供

環境サポートセンターに寄せられる環境に関する行事予定情報や各種案内、当財団からのお知らせを主な内容として、メールニュース「北海道環境財団/環境サポートセンターからのお知らせ」を週刊で発行しています。配信先は、個人約600名、加えて道内外の様々なメーリングリストへの投稿を行っています。2007年10月からはメールニュース配信のための新システムを導入し、業務の効率化を図りました。

これからも効率的な情報の収集、配信に努めていきます。

※メールニュースのお申し込み

[http://www.heco-spc.or.jp/news/about/news\\_00.html](http://www.heco-spc.or.jp/news/about/news_00.html)

### 2-4 図書資料整備・貸出業務

2007年度も環境関連の書籍及び団体が発行する刊行物の収集を行いました。また、2007年10月からはそれまで禁帯出だった地球温暖化に関する書籍の貸し出しを開始しました。2007年度末現在、蔵書数約7800冊、定期刊行物45種類を配架しています。





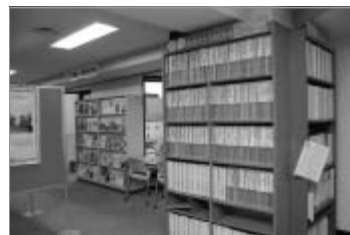
## 2-5 環境関連ビデオ・DVDの収集、提供

環境サポートセンターでは、環境関連のビデオ・DVDを収集し、貸し出しを行っています。また、当財団が主催で行ったセミナーの記録については、2006年度からビデオに加えDVDによる貸し出しも開始し、好評をいただいています。現在、所蔵しているビデオ・DVDは179本(うち当財団の主催セミナー記録ビデオは73本)で、環境サポートセンター館内閲覧用の44本を除いて、館外への貸し出しを行っています。

## 2-6 環境保全活動団体の情報収集、提供

道内で環境保全分野で活動している団体の情報を収集し、当財団のホームページ上に、団体の名称や活動内容、連絡先等をデータベースとして公開しています。2003年にデータベースの運営を始めて以来、2007年度末までに掲載されている道内環境保全活動団体数は385団体です。

また、環境サポートセンター内にある道内環境保全活動団体閲覧資料コーナーには、データベースに掲載されている道内団体の中で、ニュースレターやパンフレットなどを発行し、ファイルに綴ることを希望された181団体の資料が自由に閲覧できるようになっています。同様に、道外環境関連団体コーナーには、614箇所の道外で活動する環境関連団体や、環境関連施設などの資料を閲覧用に提供しています。



※北海道の環境保全団体情報データベース

[http://www.heco-spc.or.jp/eco\\_db/phpdb.php?table=organization&skin=list](http://www.heco-spc.or.jp/eco_db/phpdb.php?table=organization&skin=list)

## 2-7 環境情報関連施設の情報収集、提供

道内の環境関連施設、市民活動サポート関連施設の資料を、環境サポートセンター内にある環境関連施設コーナーで公開しています。2007年度末現在、環境関連施設154箇所、市民活動サポート関連施設等57箇所についての情報をご覧いただけます。

また、ウェブ公開の承諾を得られた155施設(2007年度末現在)については、当財団のホームページの「北海道の環境学習・教育施設データベース」に収録し、公開しています。

※北海道の環境学習・教育施設データベース

[http://www.heco-spc.or.jp/eco\\_db/phpdb.php?table=facility&skin=list](http://www.heco-spc.or.jp/eco_db/phpdb.php?table=facility&skin=list)

## 2-8 環境関連チラシ、パンフレット類の収集、提供

環境サポートセンターの環境関連チラシのコーナーには、主に道内のイベントや人材募集、助成金に関する情報を収集し、掲示、配布しています。

パンフレット配布コーナーでは、各機関が発行している普及啓発パンフレットを収集し来館者やセミナー参加者などに提供しています。現在、約80種類のパンフレットをサポートセンター館内にて配布しています。



## 2-9 環境関連情報の照会対応

環境サポートセンターでは、環境保全活動に関する各種ご相談やお問い合わせを随時お受けしています。当財団が有する各種情報を基にスタッフがお答えしていますが、直接情報提供できない場合には、照会先などの情報源について可能な限り提供するように努めています。



### 3 環境学習推進事業

#### 3-1 環境セミナー事業

##### 3-1-1 地球温暖化対策セミナー：豊かな海、オホーツク海に迫る危機とは

この3月まで北海道大学低温科学研究所の所長を勤められた若土正暁氏に、温暖化によるオホーツク海の環境変化について説明していただきました。オホーツク海は北半球でも最も南に海氷が広がる地域で、太平洋から流れ込んだ海水を、酸素を多く含む水に戻す心臓のような役割を果たしています。また、アムール川から流れ込む栄養分が、オホーツク海に存在する中層水の循環で全域に運ばれています。このような重要な海域ですが、ここ50年ほどで中層水の温度は平均0.6度上昇しており、また酸素の量も減ってきています。気候変動によりその循環が弱くなり、栄養分をオホーツク海全域に行き渡らせることが出来なくなり、海洋資源の動きに変化も現れてくるということが説明されました。セミナー当日は、日中ということもあり、企業関係の方が多く、活発に質問も出されていました。

[日時] 2007年4月5日(木) 13:30～15:30  
[場所] 環境サポートセンター 多目的ホール  
[内容・講師]

「地球温暖化：豊かな海・オホーツク海への影響」 若土 正暁 氏(北海道大学低温科学研究所教授)

[参加者] 59名

[主催] 北海道産学官研究フォーラム、北海道地球温暖化防止活動推進センター((財)北海道環境財団)、  
環境省北海道環境パートナーシップオフィス

##### 3-1-2 第8回水俣病記念講演会—生命へのまなざしを問われて

毎年、水俣フォーラム(東京)が東京と地方で交互に開催している「水俣病記念講演会」を今年は札幌で行うこととなり、昨年度夏頃より水俣フォーラム、北海道新聞社とともに準備を進めてきました。2004年に開催した水俣・札幌展(来場者9346名)から3年を経ましたが、まだ人々の記憶に新しく、準備段階でも多くのボランティアに恵まれたほか、当日も会場一杯の来場者にお越しいただき大成功に終わりました。ご講演いただいた杉本さんは、母が発病した当時の様子を振り返り、「親切だった村の人から石を投げられ、『村から出て行け』と言われた。思い出だけで体にけいえんがきそうです」と説明し、差別の実態に「一人ひとりが気づいてほしい」と訴えました。また、熊本学園大学の原田教授は、原因となった水銀が北海道の釧山から算出された話を紹介し、「水俣病はさまざまな社会問題が凝縮されている。この経験から多くのことを学んでほしい」と示唆に富む話をされました。そのほか、当日は熊本県水俣市からこの講演会のために、社会福祉法人「ほっとはうす」の胎児性水俣病患者8人と支援者6名が来道し、講演会に花を添えたほか、多くのメディアにも採り上げられました。



##### \* 第3回札幌準備会

[日時] 2007年4月7日(土) 13:00～17:00  
[場所] 環境サポートセンター 多目的ホール、ほか札幌市内  
[内容] 自己紹介、ポスター貼り、当日スタッフワークの説明  
[参加者] 40名

##### \* 第8回水俣病記念講演会

[日時] 2007年5月19日(土) 14:30～18:00  
[場所] 道新ホール  
[主催] 水俣フォーラム、北海道新聞社、(財)北海道環境財団  
[後援] 北海道、札幌市、札幌市教育委員会  
[協賛] 札幌弁護士会、株式会社環境構想研究所、株式会社中山組・連合北海道、北海道平和運動フォーラム、北海道生活クラブ生活協同組合、市民ネットワーク北海道、創価学会青年平和会議、日本キリスト教団北海道区



[入場料] 一般:当日1800円、前売り1300円／学生:当日1500円、前売り1000円／  
中学・高校生:当日1000円、前売り700円

[プログラム]

司会者あいさつ 下村 健一 氏(キャスター)  
主催者あいさつ 内山 到 (北海道環境財団)  
講演 杉本 栄子 氏(漁師、水俣病患者、水俣市在住)「私の宝物—海と、父の言葉と、水俣病」  
講演 長倉洋海氏(写真家)「紛争地で見た“死ぬこと、生きること”」  
紹介 来場の水俣病患者  
講演 鎌田 慧 氏 (ルポライター)「水俣から六ヶ所村へ—棄民を生み出す日本社会」  
講演 原田 正純 氏(精神神経科医師、熊本学園大学教授)「水俣病50年から学ぶもの」  
おわりに 実川 悠太 氏(水俣フォーラム)

[来場者] 697名(別に講師およびスタッフ:57名)

### 3-1-3 「でんきを消して、スローな夜を」～キャンドルの灯りに思いを寄せて～

環境ジャーナリストであり、「100万人のキャンドルナイト」の呼びかけ人の一人でもある枝廣淳子さんを講師としてお招きして、日本と世界の取り組みのいくつかをご紹介いただきながら、キャンドルナイトの意義や可能性、地球温暖化問題などについてお話いただきました。



[日時] 2007年5月21日(月)18:30～21:00

[場所] 環境サポートセンター

[講師] 枝廣 淳子 氏(環境ジャーナリスト、(有)イーズ代表他)

[参加者] 81名

[主催] (財)北海道環境財団、さっぽろキャンドルナイト実行委員会

### 3-1-4 トークナイト：湿原の今を読み解く

日本の湿原面積の8割以上を有する北海道にとって、湿原は北海道を代表する自然環境の1つです。そこで、湿原の研究に長く携わる3人の講師を迎え、湿原の現状や課題についてお話いただきました。はじめに岡田氏からは様々な湿原のご紹介及びその成り立ちについて鮮やかな写真や、モデル計算による湿原が形作られるまでの3Dシミュレーションなどを解説いただきました。高田氏からは、道内の湿原に焦点を当て、その特徴などをお話いただき、さらには乾燥化という湿原が直面する問題に対して、ササ刈りに代表される様々な取り組みや、GISを駆使した調査の一端をご紹介いただきました。後半は、当財団より辻井理事長が加わり3者にて湿原への思い、課題について、意見交換を行いました。会場には、定員を大幅に上回る58名もの参加者が集まり、最後の質疑応答においては、会場からも湿原への熱い思いがご意見として寄せられました。



[日時] 2007年6月14日(木)18:00～20:00

[場所] 環境サポートセンター

[講師] 岡田 操 氏(水工リサーチ専務)

高田 雅之 氏(北海道環境科学研究センター環境GIS課長)

辻井 達一 氏((財)北海道環境財団理事長)

[参加者] 58名

[主催] (財)北海道環境財団、北海道新聞社





### 3-1-5 くしろエコ・フェア2007記念講演会：「釧路沈没」～温暖化が進むと北海道東部の湿原はどうなるか

地球温暖化は、湿原や周縁に住む人々の生活環境にも深刻な影響を及ぼすことが懸念されています。そこで、湿原とその流域の保全と再生、教育の視点から3人の講師をお招きしてお話いただきました。当財団辻井理事長から、温暖化の結果生じるといわれる海面上昇が及ぼすであろう釧路湿原及びその周縁への影響について、画像を用いたシミュレーションを通して解説し、加えて湿原が持つカーボンプールとしての有効性、その保全の必要性についてお話いただきました。続いて根津・田丸両氏を加えて、湿原・自然環境に恵まれた釧路のこれからのあり方、この自然を資産として次の世代へ残すべくどのように接していくべきか意見交換を行いました。

- [日時] 2007年6月16日(土)13:00～15:30  
[場所] 釧路キャッスルホテル 平安の間  
[講師] 辻井 達一 氏(日本国際湿地保全連合会長、当財団理事長)  
根津 文博 氏(川湯御園ホテル社長)  
田丸 典彦 氏(北海道教育大学釧路校教授)  
[参加者] 170名  
[主催] (財)北海道環境財団、くしろエコ・フェア2007実行委員会、  
環境省北海道地方環境事務所、経済産業省北海道経済産業局



### 3-1-6 なまら便利なバスマップ改定記念

昨年、NPO法人交通倶楽部ゆうらんでは、札幌市元気活動プロポーザル事業を利用して作成した「なまら便利なバスマップ」を作成しました。今年度の第2版作成作業には当財団も参画しましたが、この第2版の完成を記念して、札幌市、交通倶楽部ゆうらんと三者共催により、その使い方講座を開催しました。公共交通の利用促進は交通分野の対策の柱のひとつですが、そのための有効なツールが必要です。参加者には、高齢者の方も非常に多く、自動車の運転が難しくなった年代が、移動の手段として公共交通を重要視している姿が印象的でした。

- [日時] 2007年7月10日(火)14:00～16:00  
[場所] 環境サポートセンター 多目的ホール  
[講師] 本島 光二 氏(札幌市市民まちづくり局交通企画課)  
松本 公洋 氏(NPO法人交通倶楽部ゆうらん理事長)  
[参加者] 43名  
[主催] 札幌市交通企画課、NPO法人交通倶楽部ゆうらん、  
北海道地球温暖化防止活動推進センター((財)北海道環境財団)



### 3-1-7 地球温暖化対策セミナー2：物理学の権威が語る～地球温暖化の真実～

北海道産学官研究フォーラムと共催した地球温暖化対策セミナーの2回目として、今回は、首都大学東京学長の西澤潤一氏をお招きしました。西沢氏は物理学の権威であり、水力をフルに利用し、送電網を発達させることにより、極端な省エネルギー等を要せずに、温暖化を防ぎながらも現状とあまり変わらない生活を送ることができるというビジョンをご披露いただきました。

- [日時] 2007年7月4日(水)13:30～15:30  
[場所] 環境サポートセンター  
[講師] 西澤 潤一 氏(首都大学東京学長・国際工学アカデミー連合会長)  
[参加者] 43名  
[主催] 北海道産学官研究フォーラム、北海道地球温暖化防止活動推進センター((財)北海道環境財団)



### 3-1-8 「いま、熱帯雨林で何が起きているか」～森林火災、地球温暖化、水環境を語る～

森林火災のニュースはよく聞きますが、インドネシアの大湿地帯を形づくっている泥炭が大規模に燃えたり、くすぶったりしている事実はあまり知られていません。泥炭火災は、火災の度に大量の二酸化炭素が放出され、今や地球温暖化の主因の1つとさえ言われています。また、衛生施設の不備や不法な金の採掘事業などの影響を受けて地域環境の悪化も進んでいます。カリマンタンをフィールドに十数年以上にわたって熱帯性泥炭地のメカニズムを調査してきた専門家から森林火災の実態と影響についてお聞きしました。

- [日時] 2007年8月30日(木) 18:30～21:00
- [場所] 環境サポートセンター
- [講師] 高橋 英紀 氏(NPO法人 北海道水文気候研究所)  
橋 治国 氏(NPO法人 北海道カリマンタン交流協会)
- [参加者] 37名
- [主催] (財)北海道環境財団、NPO法人北海道カリマンタン交流協会
- [協力] エコ・ネットワーク



### 3-1-9 市民の集い「水俣病・出会いの旅～訪問から44年～」

水俣病の原因がまだ有機水銀であることが解明されていなかった44年前、北海道の高校生が水俣病患者の慰問に水俣を訪れていました。札幌の北星学園女子高では、1960年からカンパを募り、水俣病原因究明期の熊本大学医学部や「胎児性水俣病」が確認されたばかりの患者らに募金やスズランを送り、63年には水俣市の招待で、生徒、教員ら3人が患者を見舞っています。そのことに励まされた患者の一人、生駒秀夫さんの「あのときの生徒さんにお礼が言いたい」という一言により、札幌への旅が事業化(熊本県水俣病情報発信事業)し、札幌では北星学園女子高校を訪問し講演を行ったほか、水俣病の今を伝える視点で患者や支援者の立場でお話いただきました。患者としてお話いただいた生駒秀夫さんは、患者のなかでも初期に発病した方で原因究明のための苦しい検査や地域からのひどい差別を経験されており、そういった経験をはじめとして、水俣病患者として生きてきた人生を赤裸々に語っていただきました。

- [日時] 2007年9月30日(日) 13:30～16:30
- [場所] 札幌エルプラザ2階 環境研修室
- [内容] ビデオ上映「奇病の陰に」  
生駒 秀夫 氏(水俣病患者)のお話  
日吉 フミ子氏(元水俣市議・水俣病市民会議会長)のお話  
谷 洋一 氏(水俣病互助会事務局)のお話
- [参加者] 50名
- [主催] 「水俣病・出会いの旅」実行委員会、水俣病互助会 [共催] (財)北海道環境財団
- [協力] 北星女子高等学校
- [関連企画] 「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク『水俣病写真展』



### 3-1-10 エコトーク映画会

温暖化の影響と思われる海外の事例や映画「不都合な真実」の見どころ、道内で広がる自主上映会の様子など、ゲストからのお話を聞いた後、映画「不都合な真実」を鑑賞しました。鑑賞後は、映画のメッセージを広める取組み(6-3-5参照)にご理解いただいた多数の参加者から感想をいただきました。また当日会場横ではウォームビズの普及や地球温暖化問題に興味を持っていただくために地球温暖化パネル展を実施し、多くの方が熱心にご覧になっていました。

- [日時] 2008年2月15日(金) 13:00～15:10
- [場所] ちえりあホール(札幌市)
- [内容] エコトーク 小林 三樹氏(北海道環境財団評議員)、映画「不都合な真実」上映、もったいない川柳の紹介
- [参加者] 280名
- [主催] 札幌市リサイクルプラザ宮の沢、(財)北海道環境財団

### 3-1-1 地球温暖化シンポジウム

北見で2回目の自主上映となる映画「不都合な真実」の上映会が、地元環境団体・ボランティアや地球温暖化防止活動推進員らの協力で実現しました。映画を鑑賞した後、企業や消費者の立場でできる地球温暖化防止への取り組み事例や、地球温暖化防止活動推進員による北見地域の気象や環境変化などが紹介されました。またこの日は「オホーツク流水の日」でもあり、北見上映と連携して網走や紋別でもこの映画が上映されていました。



[日時] 2008年2月17日(日) 14:00～16:50

[場所] 北見芸術文化ホール(北見市)

[内容] 映画「不都合な真実」上映

講演「地球温暖化とエコ」辻 悦郎 氏(北海道地球温暖化防止活動推進員)

「企業側のエコへの取り組み」松尾 真 氏((株)アレフ広報室室長)

「消費者側のエコへの取り組み」合田 悦子 氏(北見エコスクール運営委員会)

[参加者] 約30名

[主催] 北見星屑の会、ありのままの会、(財)北海道環境財団

[後援] 北海道網走支庁

### 3-1-12 第7回「野生生物と交通」研究発表会

異分野間の意見交換を通して、交通の利便性、安全性、地域経済への影響と自然環境保全のバランスを考える機会として、下記内容で開催しました。

[日時] 2008年2月22日(金)10:00～17:20

[場所] 札幌市教育文化会館 4階講堂

[内容] 5つのテーマからなる分科会により研究発表が行われました。

・第1分科会(緑化)座長:大川戸貴浩(社団法人北海道開発技術センター)

「雲石道路における自生木本種を用いた法面緑化の取り組みについて」

高橋将氏(函館開発建設部 江差道路事務所)、石川博規氏(株式会社社長大 札幌支社)

「温故知新による自然の再生～一般国道40号国防防雪林の育成とリサイクル緑化の取り組み～」

本間定男氏(旭川開発建設部 士別道路事務所)、高橋崇氏(中川建設業共同組合)

「道路建設に関わる貴重植物の形態・生態、増植手法について」

斎藤新一郎氏(社団法人北海道開発技術センター)

・第2分科会(保全Ⅰ)座長:井上剛(野外科学株式会社)

「西岡ダム建設事業における環境配慮の取り組み」

小林功氏(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、池田幸資氏(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、

漆原強氏(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、岡村武志氏(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、

赤間修二氏(旭川土木現業所 士別出張所)、北本幸徳氏(旭川土木現業所 士別出張所)

「十勝地方の防風保安林に生息するエゾモモンガの生態とその保全」

東城里絵氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)、浅利裕伸氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)、

柳川久氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)

「北見道路における自然環境保全・再生の取り組みについて

～ニホンザリガニの環境保全対策と伐り株移植による樹林再生～」

豊島真生氏(網走開発建設部 北見道路事務所)、内山秀樹氏(株式会社 ドーコン 環境保全部)、

佐藤公俊氏(株式会社 ドーコン 環境保全部)

「輸入牧草から発見される海外の動物:北米産野鳥死体の混入事例ほか概要紹介～」

浅川満彦氏(酪農学園大学 獣医学部)

・第3分科会(保全Ⅱ)座長:山田芳樹(酪農学園大学)

「北海道十勝地方におけるオオタカとハイタカの営巣環境とその保全」

平井克亥氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)、瀧本育克氏(株式会社 開発工営社)、  
柳川久氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)  
「ニホンザリガニ(Cambaroides japonicus)の小河川における生息環境の選好性と効率的な調査手法について(予報)」  
山田浩行氏(パシフィックコンサルタンツ株式会社)、布川雅典氏(専修大学北海道短期大学)、川井唯史氏(北海道立稚内水産試験場)  
「コウモリ類にとっての防風林の有用性について」  
石井健太氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)、柳川久氏(帯広畜産大学 野生動物管理学研究室)、中島宏章氏  
「世界ラリー選手権開催に伴う自然環境への影響とミティゲーション(2)」  
長崎正人氏(世界ラリー選手権大会組織委員会)、室瀬秋宏氏(アークコーポレーション株式会社)

- ・第4分科会(ロードキルの現状)座長:前田剛(対馬野生生物保護センター)  
「道路が昆虫の生息に及ぼす影響～支笏湖付近の道路におけるトンボのロードキル(予報)～」  
山田芳樹氏(酪農学園大学 環境昆虫学研究室)、佐々木均氏(酪農学園大学 環境昆虫学研究室)、  
水間夕貴氏(酪農学園大学 環境昆虫学研究室)、川村理沙氏(酪農学園大学 環境昆虫学研究室)、原内裕氏(株式会社ドーコン)  
「ツシマヤマメコ交通事故防止対策のための他種哺乳類の交通事故調査」  
山本英恵氏(NPO法人どうぶつたちの病院 対馬動物医療センター)、前田剛氏(ツシマヤマメコ交通事故対策チーム)、  
佐々木真二郎氏(ツシマヤマメコ交通事故対策チーム)、村山晶氏(ツシマヤマメコ交通事故対策チーム)、  
杉谷篤志氏(NPO法人どうぶつたちの病院 対馬動物医療センター)  
「エゾシカの交通・列車事故にみる共通性～データの特徴に着目して～」  
野呂美紗子氏((社)北海道開発技術センター)、原文宏氏((社)北海道開発技術センター)、萩原亨氏(北海道大学大学院 工学研究科)

- ・第5分科会(ロードキル対策)座長:柳川久(帯広畜産大学)  
「一般国道におけるエゾシカ横断ポイントの集約によるロードキル対策について」  
福原潤二氏(室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所)、上村達也氏(室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所)、  
小湊梓氏(室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所)  
「ツシマヤマメコ交通事故の現状と対策～既設カルバートの利用状況調査に基づく交通事故対策の検討～」  
前田剛氏(対馬野生生物保護センター)、茂木周作氏(対馬野生生物保護センター)、上山剛司氏(対馬野生生物保護センター)、  
大谷雄一郎氏(対馬野生生物保護センター)、佐々木真二郎氏(対馬野生生物保護センター)、  
檜山智嗣氏(長崎県対馬地方局農林水産部林業課)、村山晶氏(Imperial College London, Conservation Science)、  
山本英恵氏(NPO法人どうぶつたちの病院)、杉谷篤志氏(NPO法人どうぶつたちの病院)  
「GPS携帯電話を用いた動物事故処理記録収集システムによる新たな取組み  
～ロードキルデータ記録作業の効率化と事故の削減のために～」  
河崎拓実氏(網走開発建設部 道路第1課)、高橋克也氏(網走開発建設部 道路第1課)、井内彰宏氏(網走開発建設部 道路第1課)

[参加者] 223名

[主催] (社)北海道開発技術センター

[共催] (社)エゾシカ協会、(財)北海道環境財団、有限責任中間法人シーニックバイウエイ支援センター

### 3-1-13 「地球環境と人類の行方」～石弘之先生最終講演～

人口の爆発的な増加や化学物質の人体への影響、人口移動と人種問題、天然資源の高騰と枯渇、食料の高騰と不足、自然災害の多発、新型ウイルスの感染増加など、人類が直面している様々な環境問題は、地球温暖化の危機を訴えるレベルに留まらず、貧困、戦争、人権などの問題においても、これらは環境問題と密接不可分の関係にあることを、これからの地球環境を見据えながら分かりやすくお話ししました。

[日時] 2008年2月26日(火) 18:30～20:30

[場所] 環境サポートセンター

[講師] 石 弘之氏(北海道大学公共政策大学院特認教授)

[参加者] 83名

[主催] エコ・ネットワーク

[共催] (財)北海道環境財団



### 3-1-14 地球温暖化対策地域協議会と連携したセミナー開催(6-2参照)

### 3-2 子ども向け普及啓発プログラムの企画・実施(6-3-2参照)



### 3-3 校外学習への対応

総合的な学習の時間や各科目内で「環境」をテーマとした学習を進めるにあたって、環境サポートセンターには教員や児童からの問い合わせが多く寄せられています。当財団ではこうした学校での環境学習を支援する目的で、訪問学習を受け入れています。2007年度は、以下の学校が環境サポートセンターを訪れ、環境学習に取り組みました。特に地球温暖化問題をテーマとした学習においては、地球温暖化防止啓発事業の一環としてゲームやワークを交えたプログラムも実施しました。(6-3-2 参照)

※訪問学習をご希望の方は環境サポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

実施までの流れについては、下記HPをご覧ください。

[http://www.heco-spc.or.jp/supp/visit/visit\\_01.html](http://www.heco-spc.or.jp/supp/visit/visit_01.html)

2007年度の主な校外学習受入校は下表の通りです。(合計15校 202人)

| 対応日時    | 学校名 学年等            | 人数  | 対応内容                       |
|---------|--------------------|-----|----------------------------|
| 6月 5日   | 小樽市立長橋中学校 2年生      | 3人  | 温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助 |
| 6月 11日  | 札幌市立平岸中学校 2年生      | 12人 | 施設案内、調べ学習補助、質問対応           |
| 6月 6日   | 札幌国際大学             | 4人  | 環境全般に関するレクチャー、質問対応         |
| 6月 28日  | 江別市立大麻東小学校 6年生     | 9人  | 施設案内、調べ学習補助、質問対応           |
| 7月 3日   | 中村記念病院附属看護学校 1年生   | 15人 | 温暖化防止啓発プログラム実施、設案内、質問対応    |
| 7月 17日  | 北海道教育大学付属札幌中学校 3年生 | 2人  | 施設案内、質問対応                  |
| 8月 7日   | 北翔大学 4年生           | 45人 | 温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、質問対応   |
| 10月 10日 | 札幌市立八条中学校 3年生      | 3人  | 施設案内、調べ学習補助                |
| 10月 12日 | 岩見沢市立美流渡中学校 1年生    | 4人  | 施設案内、調べ学習補助、質問対応           |
| 10月 26日 | 札幌市立宮の森中学校 2年生     | 6人  | 施設案内、調べ学習補助                |
| 10月 31日 | 札幌市立平岡緑中学校 1年生     | 40人 | 温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助 |
| 11月 1日  | 南幌町立南幌中学校 2年生      | 19人 | 施設案内、調べ学習補助、質問対応           |
| 11月 13日 | 札幌市立八軒中学校 1年生      | 10人 | 温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助 |
| 12月 7日  | 日本福祉看護学院           | 27人 | 温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、質問対応   |
| 12月 13日 | 立命館慶祥高校 2年生        | 3人  | 地球環境全般に関するワーク、レクチャー等       |



## 4 広報啓発事業

### 4-1 移動推進センター事業

道内各地の行事・施設に出展し、地球温暖化や環境保全活動に関する情報を周知・提供するとともに、環境サポートセンター、北海道地球温暖化防止活動推進センターの活動紹介を行いました。

また、市町村や学校、地球温暖化対策地域協議会、地球温暖化防止活動推進員等と連携して、地球温暖化防止をテーマとしたプログラムを企画し、実施しました。



| 開催日【開催地域】                           | イベント名（開催場所）《主催》  | 実施内容   |
|-------------------------------------|--|--|
| ■4月22日【札幌】                          | Earthday Ezo 2007 in 大通り公園<br>《同実行委員会》<br>Earthday Ezo 2007 in 円山動物園<br>《同実行委員会》 | パネル掲示、パンフレット配布、啓発Tシャツの販売、水俣病記念講演会広報、同講演会チケット販売、温暖化防止啓発プログラムの実施 |
| ■4月28日～6月15日<br>【帯広、幕別、足寄、豊頃、士幌、帯広】 | 地球温暖化防止パネル展<br>《北海道十勝支庁、北海道環境財団》   | パネル掲示、パンフレット配布   |
| ■4月28日～7月1日【旭川】                     | 地球温暖化展《旭川市旭山動物園》   | パンフレット配布   |
| ■5月27日【富良野】                         | 不都合な真実 上映会<br>《富良野アース・グリーン》  | パネル掲示、パンフレット配布   |
| ■6月3日【釧路】                           | くしろエコ・フェア2007《同実行委員会ほか》  | 温暖化防止啓発プログラムの実施  |
| ■6月11日～24日【名寄】                      | 温暖化防止展《北海道環境財団、「不都合な真実」上映実行委員会・道北》   | パネル掲示、パンフレット配布   |
| ■6月16日、17日【江別】                      | えべつ環境広場2007《えべつ地球温暖化対策地域協議会、江別市》   | パネル掲示、パンフレット配布、温暖化防止啓発プログラムの実施                                 |
| ■6月24日【苫小牧】                         | 第58回全国植樹祭<br>《第58回全国植樹祭北海道実行委員会》   | パネル掲示、パンフレット配布   |
| ■6月30日【北広島】                         | 北広島環境ひろば2007<br>《北広島環境ひろば実行委員会》  | 温暖化防止啓発プログラムの実施  |
| ■7月22日【札幌】                          | まちなか原っぱ大作戦<br>《まちなか原っぱ実行委員会》   | 温暖化防止啓発プログラムの実施  |
| ■7月24日【札幌】                          | 環境保全活動展示<br>《札幌市リサイクルプラザ宮の沢》   | パネル掲示、パンフレット配布   |
| ■8月5日【釧路】                           | 釧路湿原国立公園指定20周年記念イベント「ワンダーランド・ナチュラ」<br>《釧路湿原国立公園連絡協議会》                            | 温暖化防止啓発プログラムの実施  |
| ■8月28日【江別】                          | 江別市立第3小学校  | 6年1組、2組児童に温暖化防止啓発プログラムの実施                                      |
| ■9月1日、2日【札幌】                        | 環境・快適暮らし展 in 厚別《環境にやさしいまちづくりを考える会、札幌市》   | パネル掲示、パンフレット配布   |

| 開催日【開催地域】       | イベント名（開催場所）《主催》                           | 実施内容                               |
|-----------------|---|------------------------------------|
| ■9月1日、2日【札幌】    | 住宅リフォームフェア 2007 in 札幌<br>《(株)リフォーム産業新聞社》  | パネル企画・作成・掲示、<br>パンフレット配布           |
| ■10月11日～30日【蘭越】 | 地球温暖化パネル展<br>《蘭越町、北海道環境財団》                | パネル掲示、パンフレット配布                     |
| ■10月25日【富良野】    | 富良野市立鳥沼小学校                                | 5年生、6年生児童に2コマで温暖化防止<br>啓発プログラムの実施  |
| ■10月27日、28日【小樽】 | 2007青少年のための科学の祭典北海道大<br>会《同実行委員会ほか》       | 温暖化防止啓発プログラムの実施                    |
| ■11月1日～3日【富良野】  | ふらの環境展2007《ふらの市民環境会議》                     | パネル掲示、パンフレット配布                     |
| ■1月16日【札幌】      | 清田区子供ごみサミット《清田区クリーンさっ<br>ぽろ衛生推進協議会、清田区役所》 | 温暖化防止啓発プログラムの実施                    |
| ■2月6日【富良野】      | 富良野市立鳥沼小学校                                | 保護者及び同校教員を対象とした温暖<br>化防止啓発プログラムの実施 |
| ■2月9日～11日【札幌】   | 第2回環境科学展<br>《札幌市青少年科学館》                   | パネル掲示、パンフレット配布、<br>温暖化防止啓発プログラムの実施 |
| ■2月24日【札幌】      | 北海道環境教育ミーティング 体験屋台<br>《同実行委員会》            | 温暖化防止啓発プログラムの実施                    |

## 4-2 企画展示

### 4-2-1 アースデイEZO2007展

Earthday EZO 2007の活動(5-4参照)を多くの方に知っていただくとともに、この活動を広めていく一つの手段として「Earthday EZO 2007」企画展を行いました。活動全体の概要から、実行委員会の情報、道内各地で開催されたアースデイ企画と呼ばれるイベントの情報などを事業の展開に併せて随時更新・掲示しました。また、各団体や実行委員会が作成した様々な資料も配布し、この活動の情報の拠点としての役割を果たしました。

〔展示期間〕 2007年2月26日(月)～6月30日(土)

〔展示場所〕 環境サポートセンター

〔展示主催〕 Earthday EZO 2007実行委員会、(財)北海道環境財団



### 4-2-2 さっぽろキャンドルナイト2007展

キャンドルナイトについての情報を提供するとともに、キャンドルナイトへの参加を呼びかけるために、「さっぽろキャンドルナイト2007」企画展を行いました。さっぽろキャンドルナイト2007の概要や市内各所で実施されるイベント、キャンドルナイトレストランなどの情報が掲載されたパンフレットやポスター、チラシ、ポストカード、キャンドル等を掲示・配布しました。

〔展示期間〕 2007年4月2日(月)～6月29日(金)

〔展示場所〕 環境サポートセンター

〔展示主催〕 (財)北海道環境財団

〔展示協力〕 さっぽろキャンドルナイト実行委員会



#### 4-2-3 上空から地球を眺めて ～人工衛星と飛行機から環境を見る～

衛星画像や航空写真は都市計画や調査など様々な分野で利用されています。「環境を表現する」ことも、そんな利用分野のひとつで、北海道の環境についても様々な地図が作られています。そこで、上空からの視点で北海道そして日本の環境への思いを深めていただくべく、釧路湿原国立公園を宇宙空間から眺めた地図や、平成16年に北海道に深刻なダメージを与えた大型台風による森林被害を上空からとらえた地図など、北海道の環境に係る様々な地図を展示しました。

普段の暮らしの中では目に見えにくい環境・温暖化などの問題を訴える手法として、地図・衛星画像というツールは新鮮な切り口として一部の方から大きな関心をいただき、本展示をきっかけとしてサポートセンターに初めて足を運ばれた方も相当数おられました。



[展示機関] 2007年5月29日(火)～5月31日(木)

[展示場所] 環境サポートセンター

[展示主催] (財)北海道環境財団

[展示共催] NPO法人EnVision環境保全事務所、Digital北海道、酪農学園大学、環境省北海道環境パートナーシップオフィス

#### 4-2-4 北極異変「北極からのメッセージ」～地球温暖化の最前線を歩く

北極圏は、地球温暖化の影響を受けやすく非常にデリケートな地域であるとともに、その変化は地球全体の環境や生態系に大きな影響を与えます。地球温暖化や森林火災などの影響を受けて変化する極地と前線に暮らす生き物たちの鮮やかな写真からなる企画展を、朝日新聞社の協力を得て実施しました。また、7月13日(金)～7月31日(火)まで、札幌弘栄堂書店の協力を頂き、同書店入り口にこの写真展のプレ・広報展示を実施しました。

[展示期間] 2007年7月19日(木)～7月31日(火)

[展示場所] 環境サポートセンター

[展示主催] (財)北海道環境財団

[撮 影] 朝日新聞写真センター

#### 4-2-5 立命館慶祥高校 モルディブ・ガラパゴス研修旅行報告パネル展

地球温暖化の影響を受ける島国として知られるモルディブに、2006年3月に立命館慶祥高校1年生が研修旅行に赴き、温暖化による同国への影響、国としての様々な問題を高校生の視点からまとめたパネル展示を下記のとおり実施しました。また、2007年3月に同校のガラパゴス研修旅行の報告パネルも新たに作成し、展示を行いました。

##### ■不都合な真実上映会(富良野野文化会館 ロビー)

[展示期間] 2007年5月27日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団、立命館慶祥高校、富良野アース・グリーン

##### ■千歳市環境月間パネル展(千歳市役所 1階ロビー)

[展示期間] 2007年6月1日(金)～22日(金)

[展示主催] (財)北海道環境財団、立命館慶祥高校、千歳市

##### ■江別環境ひろば2007での展示(江別市野幌公民館 1階ホール)

[展示期間] 2007年6月16日(土)～6月17日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団、立命館慶祥高校

##### ■第58回全国植樹祭での展示(苫小牧市静川会場)

[展示期間] 2007年6月24日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団、立命館慶祥高校





■はこだてエコフェスタ2007

[展示期間] 2007年9月2日(日)

[展示主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス

■地球温暖化防止パネル展

(北海道立オホーツク流水科学センター多目的ホール)

[展示期間] 2007年9月4日(火)～24日(月)

[展示主催] (財)北海道環境財団、立命館慶祥高校、  
北海道立オホーツク流水科学センター



■ふらの環境展2007での展示(富良野市立図書館2階 展示ロビー)

[展示期間] 2007年11月1日(木)～3日(土)

[展示主催] (財)北海道環境財団、立命館慶祥高校、富良野市環境課

#### 4-2-6 「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク『水俣病写真展』

市民の集い「水俣病・出会いの旅～訪問から44年～」の開催に合わせ、『「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク』に協力を得て水俣病に関する写真展を開催しました。写真は、同ネットワークが所蔵する桑原史成氏、芥川仁氏、宮本成美氏(借用)などの写真を展示しました。今回は、特別な写真の説明はありませんでしたが、かえって写真がもの静かに主張しているようで、存在感がありました。講演のため来札していた「水俣病・出会いの旅」のご一行は「札幌に来て水俣の写真を見られるとは思わなかった」と感動されていました。

[展示期間] 2007年9月25日(火)～10月5日(金)10:00～18:00

[展示場所] 環境サポートセンター展示スペース

[展示主催] 「水俣病・出会いの旅」実行委員会

[展示共催] (財)北海道環境財団

[関連企画] 市民の集い「水俣病・出会いの旅～訪問から44年～」



#### 4-2-7 アサヒビールタンチョウフォトコンテスト入賞作品展示会

##### 及び「釧路湿原で今、行われていること～自然再生のために～」釧路湿原自然再生事業パネル展

タンチョウ及び湿原の保護活動の気運をより高めるために、アサヒビール株式会社北海道支社が実施した「タンチョウフォトコンテスト」の入賞作品の展示会と釧路湿原自然再生協議会が作成した釧路湿原自然再生事業のパネル展示を以下のとおり釧路地域で連続開催し、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ開設20周年記念シンポジウムのチラシをはじめ、各種パンフレットを配布しました。

■たんちょう釧路空港での展示

[展示期間] 2007年10月13日(土)～10月21日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団

[展示協力] アサヒビール株式会社北海道支社、釧路湿原自然再生協議会、釧路空港ビル株式会社

■阿寒国際ツルセンターでの展示

[展示期間] 2007年10月23日(火)～11月4日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団

[展示協力] アサヒビール株式会社北海道支社、釧路湿原自然再生協議会、阿寒国際ツルセンター

■ウッディホテル&レストラン夢工房での展示※

[展示期間] 2007年11月6日(火)～11月18日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団

[展示協力] アサヒビール株式会社北海道支社、ウッディホテル&レストラン夢工房

※ 展示スペースの都合により、アサヒビールタンチョウフォトコンテスト入賞作品展示会のみ開催

#### 4-2-8 北海道ウォームビズ2007展

北海道ウォームビズ2007(6-3-3 参照)の一環として、暖房に過度に依存せずに暖まるための生活の知恵を衣食住遊のテーマに沿ってまとめたパネルや、冊子「あたたかいおくりもの」パネルの掲示、温暖化防止や省エネルギーに関する各種パンフレット及び冊子「あたたかいおくりもの」の配布を、以下のとおり実施しました。また、いくつかについては、関連イベントとして実施した講座の講演録の配布も行いました。



■家庭の省エネ講座「家計圧迫は地球温暖化から？」での展示

(旭川市科学館サイバル学習・研修室)

[展示期間] 2007年11月23日(金)

[展示主催] (財)北海道環境財団

■知って得する「うちエコ講座」第1回 お掃除編での展示

(江別市大麻公民館 研修室3号)

[展示期間] 2007年11月25日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団、えべつ地球温暖化対策地域協議会

■札幌市環境プラザでの展示

[展示期間] 2007年12月1日(日)～2008年1月31日(月)

[展示主催] (財)北海道環境財団



札幌市環境プラザ展示風景

■環境サポートセンターでの展示

[展示期間] 2007年12月1日(土)～2008年3月31日(月)

[展示主催] (財)北海道環境財団

■知って得する「うちエコ講座」第2回 衣服・住まい編での展示

(江別市野幌公民館 3・5号)

[展示期間] 2007年12月1日(土)

[展示主催] (財)北海道環境財団、えべつ地球温暖化対策地域協議会

■釧路温暖化防止パネル展での展示(コアかがやき、音別コミュニティセンター、阿寒町公民館)

[展示期間] 2007年12月1日(土)～21日(金)

[展示主催] 北海道釧路支庁、釧路市

■知って得する「うちエコ講座」第4回 お料理編での展示(江別市野幌公民館 調理室)

[展示期間] 2007年12月8日(土)

[展示主催] (財)北海道環境財団、えべつ地球温暖化対策地域協議会

■北海道空知支庁ロビーでの展示

[展示期間] 2007年12月10日(月)～21日(金)

[展示主催] (財)北海道環境財団、北海道空知支庁

■「ウォームビズセッション2007」での展示(札幌市 エルプラザ3階)

[展示期間] 2007年12月18日(火)

[展示主催] (財)北海道環境財団



帯広市喜久屋書店展示風景

■帯広市喜久屋書店展示スペース(長崎屋4階)及び十勝プラザでの展示

[展示期間] 2008年1月8日(火)～20日(日)

[展示主催] Blue∞Greenプロダクション(帯広支部)

■札幌市生涯学習センター「ちえりあ」での展示(同センター 1階ホール、ちえりあホールホワイエ内)

[展示期間] 2008年2月1日(金)～5日(火)、2月15日(金)

[展示主催] 札幌市リサイクルプラザ宮の沢

■体験屋台 流水釣りぼりでの展示(北見冬祭り会場:北見市芸術文化ホール前 野外テント)

[展示期間] 2008年2月9日(土)～10日(日)

[展示主催] NPO法人常呂川自然学校

■「オホーツク流氷の日 in あばしり」での展示

(オホーツク・文化交流センター アトリウム内)

[展示期間] 2008年2月16日(土)～17日(日)

[展示主催] オホーツク流氷の日 in あばしり実行委員会



オホーツク流氷の日 in あばしり展示風景

■深川市「環境フォーラム」での展示

(深川市生きがい文化センター バトリアホール)

[展示期間] 2008年2月17日(日)

[展示主催] 深川市

■地球温暖化シンポジウムでの展示(北見市芸術文化ホール ロビー)

[展示期間] 2008年2月17日(日)

[展示主催] (財)北海道環境財団

■北方圏国際シンポジウムでの展示

(紋別市市民会館、紋別市文化会館ロビー)

[展示期間] 2008年2月17日(日)～20日(水)

[展示主催] 北方圏国際シンポジウム実行委員会



函館市立中央図書館展示風景

■函館市立中央図書館での展示

[展示期間] 2008年2月28日(木)～3月4日(火)

[展示主催] (財)北海道環境財団、函館市

#### 4-2-9 写真展 地球温暖化の目撃者 岩合光昭スペシャル

オリンパス株式会社との共催で、動物写真家・岩合光昭氏が気候変動の影響が顕在化しつつあるカナダのウェージャー・ベイでホッキョクグマなどの野生生物を撮影した作品を展示しました。期間中はウェージャー・ベイでの撮影風景を収録した映像も放映し、来場された多くの皆様に好評をいただきました。

[展示期間] 2008年1月8日(火)～1月23日(水)

[展示場所] 北海道環境サポートセンター

[展示主催] (財)北海道環境財団、オリンパス株式会社

#### 4-3 都道府県センター普及啓発・広報事業(6-3-1 参照)

#### 4-4 北国の! 冬の省エネキャンペーン(6-3-4 参照)

## 5 各種環境保全活動との連携事業

### 5-1 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務（7-3に再掲、別途報告書あり）

2005年度より環境省北海道環境パートナーシップオフィス(以下、「EPO北海道」)の運営を担っています。今年度は、北海道地方環境事務所との協働により以下のような事業を展開しました。

#### (1) 環境と環境以外の分野における各主体との関係構築及び対話の推進

環境政策及び関係主体相互間の対話の場づくり等をねらいに、下記のような意見交換の場を設置しました。

##### ① NPOと企業の協創円卓会議 第1回「外食産業のCSR」

[日時] 2007年7月10日(火)18:30~20:50

[場所] 地球環境パートナーシッププラザ(東京)

[参加者] 40名

[主催] 地球環境パートナーシッププラザ、EPO北海道

##### ② CSRスタディツアー～株式会社アレフの環境配慮施設見学会

[日時] 2007年8月24日(金)10:00~17:00

[場所] 「えこりん村」と周辺施設等(恵庭市)

[参加者] 21名

[主催] 地球環境パートナーシッププラザ、EPO北海道

##### ③ 北海道環境政策コミュニケーションツアー2007「つなげ!道産環境力」

富良野市、札幌市、北見市、釧路市の4カ所で、地元市町村等との連携により意見交換会を各1回開催しました。

(5-6参照)



#### (2) 環境パートナーシップに係る実践的取り組み

今年度は、道内企業のCSR活動に基づく環境保全活動の促進及び各主体との連携支援に向けて、上記①②に加え、企業による助成事業の紹介や、CSR分野の情報共有に向けた戦略会議の開催、環境省をはじめとする省庁が作成した政策広報用パンフレット等の収集とウェブによる一元公開、NGO/NPO・企業環境政策提言の支援事業、持続可能な開発のための教育(ESD)に関する普及啓発活動や道内活動主体との連携事業、環境保全活動にかかるコミュニティファンドの支援、インターンシップをとおした大学との連携事業、G8北海道洞爺湖サミットに向けた産学官民の情報共有の支援、その他道内のさまざまな主体とのネットワーキングや連携事業を実施してきました。

#### (3) 環境パートナーシップに関する情報の収集・発信

上記(1)(2)に関連する情報に加え、書籍、関連ホームページ、セミナーやイベント情報等、EPO北海道の活動により得られた情報を、インターネットを活用して広く発信しました。

#### (4) EPO北海道の周知

EPO北海道の事業や活動をホームページで発信するとともに、道内各地のイベントや集まり、ネットワークに参加することで、周知を図りました。

#### (5) EPO北海道の運営

常駐の専任スタッフ2名に加え、環境カウンセラー、環境省担当官、財団職員により、事務所管理、業務運営を行いました。また、本事業に道内多主体の意見を反映させていくために、運営評議会を設置し、2回開催しました。

## 5-2 地球温暖化防止活動推進員との協働事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき知事より委嘱された28名の「北海道地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)」と連携し普及啓発事業を行っています。今年度は、推進員との協働により、「北海道ウォームビズ2007」(6-3-3参照)、「北国の！冬の省エネキャンペーン」(6-3-4参照)、「温暖化防止一村一品プロジェクト」(6-4参照)などを実施しました。

また各地域で推進員が自ら企画または参画する事業に協力し、「映画 不都合な真実」上映会および感想募集プロジェクト(6-3-5参照)、「こども向け体験教室 地球温暖化ふせぎ隊」(6-3-2参照)などの事業を実施しています。

推進員との連携や協働事業は、今後も積極的に展開していきます。

## 5-3 さっぽろキャンドルナイト2007実行委員会への参画

一年中で一番昼が長い夏至の日に、夜8時から10時の2時間、みんなで一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう、という趣旨の「100万人のキャンドルナイト」の呼びかけに呼応し、札幌市内で開かれる関連の様々な取り組みを支援し、広く市民に周知をはかりました。4回目の取り組みとなった「さっぽろキャンドルナイト2007」では、キャンドルナイトイベント76件、キャンドルナイトレストラン75件、野外広告や事務所、家庭内など、多数の参加が得られ、イベントとして定着しつつあります。

また、函館市、旭川市、小樽市、恵庭市、北広島市、江別市、月形町、斜里町などでもキャンドルナイトの取り組みが行われたほか、全国では800件以上の催しが行われました。

## 5-4 Earth day EZO 2007への参画

アースデイ(4月22日)は、「地球のために行動する日」として世界的に知られており、北海道では今年初めて「環境NGO ezorock」が事務局となって「Earthday EZO 2007」実行委員会が立ち上げられ、本格的に実施されました。実行委員には様々な分野で環境保全活動に携わる31名が登録し、アースデイ企画として開催するイベントの募集、情報の取りまとめ、開催前の広報から報告書の作成までを担っています。4月22日にオフィシャル会場として大通り公園と円山動物園の二箇所で開催したイベントには、両会場あわせて63の団体が出展し、来場者数は延べ15,000人以上を記録しました。また、4月14日～6月30日の期間中、道内各地で18の団体がアースデイ企画としてイベントを開催しました。



当財団は、環境省北海道環境パートナーシップオフィスとともに本活動に参画し、オフィシャルHPの作成、「Earthday EZO 2007」企画展(4-2-1)の開催などを通して広報面の協力を行ったほか、会議場所の提供や、資材の作成、オフィシャルグッズの販売など、事務局機能の一部を担いました。また、4月22日にはオフィシャル会場へ移動センター事業(4-1参照)としてブースを出展したほか、「第8回水俣病記念講演会」(3-1-2参照)はアースデイ企画として登録し、開催しました。

[主催] アースデイEZO2007実行委員会

[共催] 札幌市

[後援] 石狩市、札幌市教育委員会、石狩市教育委員会、  
北海道教育委員会、環境省北海道地方環境事務所

[協力] (財)北海道環境財団、環境省北海道環境パートナーシップオフィス

## 5-5 事業者との連携

企業の社会的責任(CSR)に基づく諸活動への関心が高まる中、当財団も事業者と連携した活動を進めることが多くなってきました。

2007年度の主な実績としては、企業と環境保全活動団体のマッチングとして、株式会社三越とサーフライダーファンデーション ジャパンによるビーチクリーニング、および「北海道の海を考える2007」と題した海洋環境・温暖化に係る情報展示開催の企画運営を行いました。また、環境省北海道環境パートナーシップオフィスが運営するCSR戦略



会議にも参加し、道内におけるCSRに係る情報の共有に努めました。

このほか、北海道電力株式会社環境コミュニケーションの一環としての環境講演会(7-8 参照)や環境ステークホルダーミーティングの企画運営(7-9参照)、アサヒビールのタンチョウ保護キャンペーンを受けたタンチョウフォトコンテスト入賞作品展示会(4-2-7参照)なども実施しています。

また、環境省の委託受け、道内の環境保全団体を対象に、企業のCSR活動との環境パートナーシップに関する取り組み調査(7-4参照)を実施しています。

今後とも環境省北海道環境パートナーシップオフィス事業も活用し、事業者の環境CSR支援等を行っていく予定です。



## 5-6 北海道環境政策コミュニケーションツアー2007「つなげ！道産環境力」

環境省北海道環境パートナーシップオフィス事業の一環として、環境を巡る立場や分野をつなぎ、環境政策への関心喚起と主体的な活動や連携促進に向けて、4回の意見交換会を開催しました。



### ① 富良野から始まる環境観光立国

[日時] 2007年10月16日(火) 18:30~21:00

[場所] 富良野市

[参加者] 38人

[主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス、富良野市、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団

### ② 日本の環境戦略はどこへ向かっているのか

[日時] 2007年10月17日(水) 13:30~16:30

[場所] 札幌市

[参加者] 61人

[主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団

### ③ つながる環境議論。日本の取組、地域の取組

[日時] 2007年11月28日(水) 18:00~21:00

[場所] 北見市

[参加者] 47人

[主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス、北見市、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団



### ④ Think locally Act globally 釧路からはじまる

[日時] 2007年11月29日(木) 13:30~16:30

[場所] 釧路市

[参加者] 52人

[主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス、釧路市、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団

## 6 地球温暖化防止活動推進センター事業

### 6-1 地球温暖化防止活動推進員および連絡会の活動支援

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、北海道知事より委嘱された「北海道地球温暖化防止活動推進員」(全道28名、任期2年、現在4期目<2007年4月～2009年3月>)の活動を支援しました。具体的には、研修事業の実施(7-1参照)、温暖化防止に関する最新情報、資料、パンフレット、新聞情報の提供や問い合わせ対応などの他、さまざまな事業を共催しています。

また、センターでは28名が自主的に組織した「北海道地球温暖化防止活動推進員連絡会」の活動も支援しています。同連絡会との協働により、推進員活動PRのための専用ホームページ(<http://www.heco-spc.or.jp/temp/suisinin/index.html>)の開設(2005年10月～)、運営を行い、昨年は延べ5184件(2007年4月～2008年1月)のアクセスを得ました。同サイトを見ての講演依頼なども増えています。

また2008年2月には、センターも全面支援して、推進員の声を反映した進捗制度の広報パンフレットを作成しました。パンフレットは各支庁や関係団体への配布を予定しています。



### 6-2 地球温暖化対策地域協議会の設立・活動支援、連携事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて設立された地球温暖化対策地域協議会は、道内に9団体設立されています。当財団では、そうした協議会の設立及び活動を支援しています。今年度は、「さっぽろ地球温暖化対策地域協議会」(札幌市及びその近郊)と「環境の保全と創造に関する旭川地域協議会」(旭川市)、「えべつ地球温暖化対策地域協議会」(江別市)、「エコ・パートナーシップ北広島」(北広島市)の4つの地域協議会と、環境省北海道地方環境事務所、当財団(北海道地球温暖化防止活動推進センター)などとの協働・連携により、次のような事業を実施しました。

#### ■ えべつ地球温暖化対策地域協議会との協働事業

##### 地球温暖化防止を考えるフォーラム～天ぷら油で車が走る、始まっているエコ燃料の時代～

家庭や店舗から出る使用済み天ぷら油を回収してバイオディーゼル(BDF)燃料を作る取り組みが、道内でも各所で始まっています。このフォーラムでは、恵庭市で地域と連携して廃食用油を回収し、BDF燃料を精製・活用している株式会社アレフ、及び、江別で自動車のリサイクルに取り組む株式会社スーパーライン北翔からお話いただきました。

[日時] 2007年4月14日(土)13:30～15:30

[場所] 江別市野幌公民館

[講師] 嶋貫 久雄 氏((株)アレフ 恵庭エコプロジェクト室長)

清水 誓幸 氏((株)スーパーライン北翔)

[参加者] 41名

[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会、(財)北海道環境財団



## 環境月間シンポジウム「地産地消で持続可能な燃料を考える」～木質ペレットとBDFの可能性～

注目を集めているバイオマス燃料をテーマに、「地産地消で持続可能なエネルギーを考える」ためのシンポジウムを、2人の講師をお招きして開催しました。木質ペレットの可能性や地産地消燃料としてのBDFについてお話いただき、その後、参加者と一緒に課題や可能性についてディスカッションを行いました。会場からも多数の質問・意見が寄せられました。

[日時] 2007年6月17日(日)14:00～16:00

[場所] 江別市野幌公民館

[講師] 山田 敦 氏(北海道立林産試験場利用部物性利用科科长)

大嶋 武 氏((株)北清企業専務取締役)

[参加者] 53名

[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団

## 知って得するうちエコ講座 第2回 ～衣服・住まい編～

暖房だけに頼らずに冬をあたたく過ごす衣服のポイントや、ファッションショーを交えてご紹介いただき、あわせて住宅におけるあたかかさのポイントや最新の工法、それらの資材として使われる森林と温暖化との関係などについてご紹介いただきました。

[日時] 2007年12月1日(土)13:30～16:30

[場所] 江別市野幌公民館 研修室3・4号

[講師・内容]

・第1部 「衣類で始める温暖化防止 with ミニ・ファッションショー」

泉山 幸代 氏(北翔大学短期大学部人間総合学科教授)

・第2部 「森林と温暖化の関係を考える」

高橋 邦秀 氏(北海道大学名誉教授)

・第3部 「あたかな住まいの基礎講座」

田中 寿広 氏((株)三五工務店 代表取締役社長)

[参加者] 30名

[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会、(財)北海道環境財団



## 知って得するうちエコ講座 第3回 ～手づくりあったかグッズ編～

身に付けることで体感温度を高めることが出来るマフラー等のグッズをいくつかご紹介いただくとともに、その製作方法を指導いただきながら参加者各自で製作を行いました。

[日時] 2007年12月7日(金)10:00～12:00

[場所] 北翔大学短期大学部被服実習室

[講師] 泉山 幸代 氏(北翔大学短期大学部人間総合学科教授)

[参加者] 13名

[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会、(財)北海道環境財団



## ■ 環境の保全と創造に関する旭川地域協議会との協働事業

### 新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業(省エネ性能表示促進事業)

省エネルギー法により規定された統一省エネラベルの使用(以下、「省エネラベル」)が、2006年10月に開始されました。冷蔵庫やテレビ、エアコンなどの省エネ家電製品に関する正しい情報を、正確に分かりやすく消費者に伝えるための省エネラベルが、家電販売店でどの程度普及しているか調査する目的で、全国省エネラベル協議会による全国調査事業の一環として、旭川市内・近郊の家電販売店店舗モニター調査及び取組み状況のヒアリング調査を行いました。

[調査期間] 2007年11月1日～2008年1月31日

[調査店舗] 32店舗

[調査対象製品] 冷蔵庫、液晶・プラズマ・ブラウン管テレビ、エアコン



### 夏休み子ども地球温暖化防止教室

地球温暖化防止の影響をうけて起こっている事例や今後想定される被害などについてお話しいただいた後に、手回し式の小型発電機の製作と発電を体験・経験することで、電気の大切さを理解し、家庭や学校などで温暖化防止活動について取り組んでもらうための体験教室を、小学校高学年を対象として開催しました。



[日時] 2007年8月2日(木)9:30～13:00

[場所] 旭川市科学館サイパル

[参加者] 20名

[主催] 環境の保全と創造に関する旭川地域協議会、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団

### 家庭の省エネ講座「家計圧迫は地球温暖化から？」～地球にも優しく、家計にも優しく～

家庭部門のエネルギー削減に向けて、温暖化の現状と私たちのくらしのつながりを伝えるねらいで開催しました。氷河の後退や北極海の海氷の減少によって、そこに住んでいる生物が危機に直面していること、燃料、食料問題など地球温暖化が私たちの生活に及ぼす影響、省エネの重要性、家庭のエネルギー消費量削減策やあたたかく暮らす生活の工夫など日常生活で簡単に出来る省エネの取り組みについて、実践例を通して分かりやすくお話しいただきました。



[日時] 2007年11月23日(金)13:30～15:00

[場所] 旭川市科学館サイパル学習・研修室

[講師] 宮森 芳子 氏

[参加者] 27名

[主催] 環境の保全と創造に関する旭川地域協議会、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、(財)北海道環境財団

### ■ さっぽろ地球温暖化対策地域協議会との協働事業

#### 新エネルギー・省エネルギー設備導入促進指導事業(省エネ性能表示促進事業)

「環境の保全と創造に関する旭川地域協議会との協働事業」に掲載内容と同様の事業について、札幌市内・近郊の家電販売店店舗モニター調査及び取組み状況のヒアリング調査を行いました。

[調査期間] 2007年11月1日～2008年1月31日

[調査店舗] 32店舗

[調査対象製品] 冷蔵庫、液晶・プラズマ・ブラウン管テレビ、エアコン

#### 知らなきヤソン！かしこい家電の使い方と最新知識～省エネラベル・省エネ家電普及のための説明会～

冷蔵庫やテレビなどに表示されている統一省エネラベルが、家電店にどの程度表示されているのか、全国的に行った調査の結果や検討中の新基準についての説明、冷蔵庫・テレビ買い替えの際のお得な省エネ情報、家電の省エネな使い方、最新知識などを分かりやすく解説しました。

[日時] 2008年3月13日(木)18:00～20:00

[場所] 環境サポートセンター

[主催] 全国省エネラベル協議会

[共催] さっぽろ地球温暖化対策地域協議会、環境の保全と創造に関する旭川地域協議会、(財)北海道環境財団

## 6-3 地球温暖化防止啓発事業

### 6-3-1 都道府県センター普及啓発・広報事業（環境省補助）

地球温暖化の情報を提供するとともに、身近な生活における温暖化防止行動を促進する目的から、北海道内の様々な地域で開催される環境イベントや学校などで、関連パネルの掲示やパンフレット等の配布、レクチャーや啓発プログラムを実施しました。また、冬期間の暖房エネルギーによる二酸化炭素排出が多い北海道の特性から、特に冬期間においては、政府が提唱するウォームビズやうちエコの呼びかけに連動して、北海道ウォームビズ2007（6-3-3参照）を実施しました。

本事業の一環として実施したパネル展、啓発プログラム実施内容は以下のとおり。

- ・「千歳市環境月間パネル展」におけるパネル出展（2007年6月1日～22日）
- ・「くしろ エコ・フェア2007」におけるパネル出展（2007年6月1日～7日）
- ・「札幌市アイドリングストップキャンペーン」におけるパネル展開催、啓発プログラム実施（2007年6月9日、10日）
- ・「くるるん・きたみ」におけるパネル展開催、啓発プログラム実施（2007年6月23日）
- ・「釧路市立朝陽小学校 6年生児童」への啓発プログラム実施（2007年6月26日）
- ・「江別市立大麻小学校 5年生児童」への啓発プログラム実施（2007年6月28日）
- ・「オホーツク流氷科学センター」におけるパネル展開催、啓発プログラム実施（2007年9月4日～24日）
- ・「苫小牧市立美園小学校 6年生児童」への啓発プログラム実施（2007年11月9日）
- ・道内各地における北海道ウォームビズ2007パネル展の開催（4-2-8参照）

### 6-3-2 啓発プログラムの企画・実施

当財団では、北海道地球温暖化防止活動推進センター事業として、「地球温暖化ふせぎ隊」（以下「ふせぎ隊」と略）という名称で子ども向け温暖化防止啓発事業を実施しています。本事業では、広く道内を対象として学校や地域で開催されるイベントに出張し啓発プログラムを実施しているほか、多くの方に活用いただくため、プログラム資料の貸出、実施レクチャー等も行っています。ボランティアスタッフを主体として構成される「ふせぎ隊」は、次の枠組みで環境学習プログラムの企画を行い、プログラムの実施等を行っています。



#### 【目的】

- ・地球温暖化をはじめとする環境問題と自分たちの行動・生活とのつながりを体験的に理解し、身近な生活の中で温暖化防止行動（環境低負荷型の行動）に取り組むきっかけづくりを行います。
- ・地球温暖化防止をテーマとするプログラムを企画・作成し、地球温暖化防止活動推進員、地域協議会、北海道内の活動団体、教職員等に利用いただきます。

#### 【対象・人数】

主に小学生（4～6年生）を対象として、40名程度を上限の参加人数として実施しています。  
※基本プログラムをアレンジして、親子や大人の方を対象としたプログラムも実施しています。

#### 【プログラム概要】

15分程の短時間の活動（ゲーム、レクチャースライド）を何種類か保有しています。  
実施場所の状況に合わせて、これらの活動群をアレンジしてプログラムを組み立てて実施しています。  
詳細はふせぎ隊ホームページ（<http://heco-spc.or.jp/husegitai/index.html>）をご覧ください

#### 【2007年度活動概要】

##### ■サタデーテーリングに合わせた環境サポートセンターでの実施

札幌市交通局が主催するスタンプラリー開催日に合わせて、環境サポートセンターに訪れる子どもたちを対象としたゲームを実施しました。本活動では、ボランティアスタッフがリーダーとなり企画・運営を行っていただきました。

[実施日] 4月14日、4月28日、5月12日、5月26日、7月7日、8月25日、9月15日、9月22日、9月29日



## ■訪問学習での実施

地球温暖化をテーマとして環境サポートセンターへ訪問した下記の学校に対して、温暖化防止啓発プログラムおよびレクチャーを行いました。

|         |              |     |     |
|---------|--------------|-----|-----|
| ・6月5日   | 小樽市立長橋中学校    | 2年生 | 3名  |
| ・7月3日   | 中村記念病院付属看護学校 | 1年生 | 15名 |
| ・8月7日   | 北翔大学         | 4年生 | 45名 |
| ・10月31日 | 札幌市立平岡緑中学校   | 1年生 | 40名 |
| ・11月13日 | 札幌市立八軒中学校    | 1年生 | 10名 |
| ・12月7日  | 日本福祉看護学院     |     | 27名 |
| ・12月13日 | 立命館慶祥高校      | 2年生 | 3名  |



## ■出張授業として実施

総合的な学習の時間を中心として、各学校にて1から2コマでの出張授業を行いました。また、カリキュラムの中で事後学習が可能な状況においては、教員の方にご協力いただき、各児童それぞれに温暖化防止行動を設定してもらい、2週間程度の実践後、ふりかえりを行うという活動を組み入れていただきました。

(2007年)

- ・6月26日 釧路市立朝陽小学校6年生 1クラス
- ・6月28日 江別市立大麻小学校5年生 2クラス(授業参観)
- ・8月28日 江別市立第3小学校6年生 2クラス
- ・10月25日 富良野市立鳥沼小学校5年生、6年生 2学年合同で実施
- ・11月9日 苫小牧市立美園小学校6年生 2クラス

(2008年)

- ・2月6日 富良野市立鳥沼小学校 保護者及び同校教員
- ・3月14日 札幌市立有明小学校2年生及び保護者(親子学習)



## ■イベントなどで実施

不特定多数の来訪が望めるイベント等に出展し、来訪者に合わせて短時間のゲーム等を随時実施しました。各行事の開催日、イベント等の名称、実施地域は以下のとおりです。

(2007年)

- ・6月3日 くしろエコ・フェア2007 (釧路)
- ・6月9日、10日 札幌市アイドリングストップキャンペーン (札幌)
- ・6月16日 えべつ環境広場2007 (江別)
- ・6月23日 くるるん・きたみ (北見)
- ・6月30日 北広島環境ひろば2007 (北広島)
- ・7月22日 まちなか原っぱ大作戦 (札幌)
- ・8月5日 釧路湿原国立公園指定20周年記念イベント  
「ワンダーランド・ナチュラ」(釧路)
- ・9月2日 さっぽろシャワー通りイベント「クルマをおいてまちをあるこう！」(札幌)
- ・9月8日 オホーツク流氷科学センター (紋別)
- ・10月27日、28日 2007「青少年のための科学の祭典」北海道大会 (小樽)

(2008年)

- ・2月9日、10日 第2回環境科学展(札幌)
- ・2月24日 北海道環境教育ミーティング体験屋台(札幌)

また、環境教室や研修会等で、複数の活動を組み合わせた数十分から数時間のプログラムを行いました。各行事の開催日、名称、実施地域は以下のとおりです。

(2007年)

- ・12月15日 平成19年度千歳市こども環境教室 (千歳)

(2008年)

- ・1月16日 平成19年度清田区子どもゴミサミット (札幌)



## ■ボランティアスタッフによる活動

環境サポートセンターでの活動の他、以下の活動についてボランティアスタッフにより企画・運営いただきました。  
※以下については、教室実施主催は「地球温暖化ふせぎ隊」、共催若しくは協力として(財)北海道環境財団として実施しました。

- ・4月22日 Earthday Ezo 2007 in 円山動物園 (札幌)
- ・9月1日、2日 環境・快適くらし展 in 厚別 (札幌)
- ・9月8日 2007青葉地区世代間交流事業「ふれあいのつどい」(札幌)

### 6-3-3 北海道ウォームビズ2007

個人や家庭における冬期間の暖房エネルギー消費の削減を目的として、衣食住遊の視点から生活の知恵や効率的なエネルギーの使い方に関する情報を収集し、パネル展やHPを中心として情報発信を行いました。また、イラストを中心として児童にも理解できる内容を目指した啓発冊子「あたたかいおくりもの」を製作し、パネル展会場や環境サポートセンターを中心として配布を行ったほか、地球温暖化ふせぎ隊の活動(6-3-2参照)においてウォームビズをテーマとした啓発プログラムを企画し実施しました。

#### ・セミナー・講座等の開催(6-2参照)

えべつ地球温暖化対策地域協議会及び環境の保全と創造に関する旭川地域協議会と連携して、北海道ウォームビズ2007関連イベントとして以下の講座を開催しました。事前取材情報や当日の講演録をとりまとめ、イベントに参加できない方にもご覧いただけるようにHP等での発信に努めました。また、北海道が主導して実施した各種イベントにも参画しました。



#### ●家庭の省エネ講座「家計圧迫は地球温暖化から？」

- [日時] 2007年11月23日(金) 13:30~15:00
- [場所] 旭川市科学館サイパル 学習・研修室
- [主催] (財)北海道環境財団、環境の保全と創造に関する旭川地域協議会、(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会

#### ●知って得するうちエコ講座

- ・第1回 ~お掃除編  
[日時] 2007年11月23日(日) 13:30~15:30  
[場所] 江別市大麻公民館 研修室3号  
[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会  
[協力] (財)北海道環境財団
- ・第2回 ~衣服・住まい編~  
[日時] 12月1日(土) 13:30~16:30  
[場所] 江別市野幌公民館 研修室3・4号  
[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会、(財)北海道環境財団
- ・第3回 ~手づくりあったかグッズ編~  
[日時] 12月7日(金) 10:00~12:00  
[場所] 北翔大学短期大学部被服実習室  
[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会、(財)北海道環境財団
- ・第4回 ~お料理編~  
[日時] 12月8日(土) 10:00~12:00  
[場所] 江別市野幌公民館 調理室  
[主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会  
[協力] (財)北海道環境財団



#### ●ウォームビズセッション2007

- [日時] 2007年12月18日(火) 12:00~16:00
- [場所] 札幌エルプラザ3階
- [主催] 北海道、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団



・主催パネル展の開催、関連イベントへの出展（4-2-8参照）

皆さんからお寄せいただいた生活の知恵や講座で紹介のあった考え方などをまとめたパネルや、冊子「あたたかいおくりもの」をパネルとして掲示しました。また、地球温暖化や省エネに関する各種パンフレットの配布、上記講座の講演録や冊子「あたたかいおくりもの」の配布を行いました。

・ホームページの企画・運営

北海道ウォームビズ2007に係る各種情報を発信していく手段としてホームページを作成し、運営しました。昨年度からデザインをリニューアルし、より一層利用しやすくなりました。11月に公開をしてから2008年3月末までに、18,175人の皆さんにご利用いただいています。

北海道ウォームビズ2007ホームページ <http://www.warmbiz-hokkaido.net/>



6-3-4 北国の！冬の省エネキャンペーン（経済産業省北海道経済産業局委託事業）

北海道経済産業局の委託を受けて、冬期間の暖房エネルギー消費量の削減等を目的に、道内での省エネルギー行動の普及を目指した「北国の！冬の省エネキャンペーン」事業を行いました。キャンペーンは2つのステージに分けて行い、まず、「ステージ1」として2007年11月5日～翌年1月31日までの間に省エネに関するアイデアや工夫・実践例を募集しました。その結果913名の方から2,232件の事例が寄せられ、マスコミやラジオ・テレビ等でも道内に紹介されました。また、「ステージ2」として応募事例の一部をHP上で紹介する「省エネコーチサイト」を開設し、ウェブでの省エネ事例の提供をするとともに、省エネ行動に関する有識者「省エネコーチ」によるコーチングを行い、省エネ行動のスキルアップを図りました。ステージ2を閲覧し、実践の感想や意見も募集したところ、384名の方から436件のご意見、実践の感想など、大きな反響がありました。



さらに、寄せられたアイデアを活用し、冊子を作成してウェブ以外での情報提供も行いました。

[実施期間] 2007年11月5日～2008年2月15日

[概要] ステージ1 省エネアイデア・工夫等の募集  
 ステージ2 省エネサイトの閲覧による実践報告・意見等の募集

[キャンペーン応募数] ステージ1 2,232件(913名)  
 ステージ2 436件(384名)

[サイト閲覧数] 延べ23,183件(日平均225件)

[事業協賛企業(順不同)] 北海道新聞社、石油連盟、北海道電力株式会社、北海道ガス株式会社、株式会社エコノス、生活協同組合コープさっぽろ、松下電器産業株式会社、松下電工株式会社、(株)アドバコム



6-3-5 映画「不都合な真実」感想募集プロジェクト

映画「不都合な真実」は、昨年度より引き続き、興行上映以外に、各地で環境団体などにより自主上映が行われてきました。これら上映会の企画のいくつかには、各地の地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)が加わっており、センターでも上映に向けて各種の支援をしてきました。

また上映の機会を捉えて、感想募集を行い、各地で集めた感想は2008年1月現在累計で1,214件になります。さらに、ほぼ全ての感想を専用のHPに掲載し、映画の感想を広く多くの人に発信しています。

これまで感想募集を行った上映会<開催市町村、期間、会場>は以下のとおり。( )は上映会または感想募集に積極的に関わった推進員。

※道内で行われた全ての上映会を記載したものではありません。



|                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| 札幌上映<2007/1/20~3/20、スガイ札幌劇場>   | (岡崎推進員+他賛同推進員) |
| 旭川上映<2007/3/24~4/13、スガイディノス旭川> | (森田推進員)        |
| 帯広上映<2007/4/28~5/25、とかちプリンス劇場> | (坂本推進員)        |
| 富良野上映<2007/5/27、富良野市民会館>       | (家次 前推進員)      |
| 名寄上映<2007/6/11~24、名寄第一電気館>     | (奈須推進員)        |
| 釧路上映<2007/6/22、ワーナー・マイカル釧路>    | (大西推進員)        |
| 紋別上映<2007/8/4、紋別流水科学センター>      | (青田推進員)        |
| 北見上映<2007/10/21、北見工業大学>        | (辻推進員)         |
| 札幌上映<2008/2/15、札幌市生涯学習センター>    |                |
| 深川上映<2008/2/17、深川市生きがい文化センター>  |                |
| 網走上映<2008/2/17、オホーツク文化センター>    |                |
| 紋別上映<2008/2/17、紋別市民会館>         | (青田推進員)        |
| 北見上映<2008/2/17、北見芸術文化ホール>      | (辻推進員)         |



#### 6-4 温暖化防止一村一品応援プロジェクト

「温暖化防止」というと、しばしば経済発展や快適な暮らしと相反するよう思われがちです。しかし、環境保全・温暖化防止と両立する地域活性化や、産業創造の試みは広がりつつあり、そうした動きが地域ブランドとしても認められてきています。このように、温暖化防止に貢献し、かつ人・地域をも元気にする、そんな各地の取り組みや産品を応援するプロジェクトとして、環境省の委託を受けて本事業を立ち上げました。

今年度は、北海道の基幹産業でもある「食」をテーマとして募集を実施し、多数応募いただいた中から沼田町の「雪冷熱エネルギーの活用」の取り組みを「最優秀事例」に、その他11件を「優良事例」として選定しました。なお、最優秀事例に選出された沼田町は、2008年2月に実施された「一村一品・知恵の環づくり」事業全国大会(全国大会名は「ストップ温暖化 一村一品 大作戦」主催:環境省)に北海道代表として参加し、銅賞(全国4位相当)という高い評価を受けました。

このプロジェクトは、マスコミからの注目も高く、数多くの新聞、雑誌に取り上げられました。とくに、雑誌「じゃらん北海道発」とタイアップし、記事掲載などを通して温暖化防止の取り組みと経済活動が両立する可能性の周知に努めました。

※本事業は環境省が実施する平成19年度温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業です。



#### ■応募概要

地球温暖化防止や地域づくりの観点から、地域のシンボルとして広めたい、商品、サービス、活動などを募集しました。温暖化防止に具体的に資するものであれば、産品や環境保全活動に限らず、農林水産業、食品加工、流通、販売、飲食業、再資源化、地産地消活動、スローフード運動等から幅広く応募を受け付けました。

[募集期間] 2007年6月1日(金)~8月31日(金)

[応募対象] 事業者、自治体、業界団体、市民団体、個人等、どなたでも応募可

## ■選考およびその結果

有識者からなる選考委員会において、地域特性、独自性、各主体の連携、事業継続性、事業発展性、二酸化炭素(CO2)削減効果、の6項目からなる選考基準について総合的に選考を進め、最優秀事例を1件、優良事例を11件選考しました。

### [最優秀事例]

沼田町 『雪冷熱エネルギーの活用』



### [優良事例]

食のトライアングル(農・商・消)研究会 『富良野オムカレー』  
ワーカーズコレクティブ 花 『手作り惣菜の店頭販売と宅配』  
黒松内町特産物手作り加工センター トワ・ヴェール 『ホエーの有効利用』  
特定非営利活動法人 風のがっこう稚内 『石釜で焼く地産地消の天然酵母パン』  
オホーツク北見塩やきそば推進協議会 『オホーツク北見塩やきそば』  
株式会社 レビオ 『生ごみから堆肥、そしておいしい野菜へ』  
特定非営利活動法人十勝エネルギーネットワーク 『菜の花を軸として』  
藤女子高等学校家庭科選択者有志 『エコクッキングを通じたエネルギー削減』  
農業生産法人アオキアグリシステム 『雪室貯蔵・地産地消の取り組み』  
ラッキーピエログループ 『体に心に地域に環境にやさしく』  
伊達市 ハウス暖房での木質ペレット利用



## 6-5 地球温暖化防止活動推進センターとしての各種ネットワークへの参画

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき指定を受けて活動する全国の地球温暖化防止活動推進センター(以下「センター」)相互の情報交換や意見集約の仕組みの必要性から、2002年に地球温暖化防止活動推進センター連絡会が設立され、2008年3月現在、全国45センターで構成されています。当財団は2006年6月まで、同連絡会副代表幹事及び北海道東北ブロック幹事として、また、2006年7月からは顧問として、他のセンターとの協働により、環境省による石油特別会計事業等に関する政策要望やセンター事業の円滑な実施に向けた意見交換等を進めてきました。今年度から環境省が開始した「温暖化防止一村一品知恵の環づくり」事業(6-4参照)等は、この連絡会との協働により創り出し、進行管理しながら進めてきています。

この他、都道府県地球温暖化防止活動推進センターとして、北海道地域エネルギー・温暖化対策推進会議、ゼロカーボン住宅普及促進協議会、北海道洞爺湖サミット道民会議、気象情報会議等、関連の会議や事業に参画し、所要の事業協力や意見交換等を行いました。

## 7 受託事業

### 7-1 平成19年度北海道地球温暖化防止活動推進員研修及び温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業委託業務（環境省地球環境局委託事業）

#### ●地球温暖化防止活動推進員研修事業

環境省より受託し、北海道地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員）および制度運用窓口である北海道職員を対象に研修事業を実施しました。

推進員は、各地域で派遣要請等による講演会講師や自主的な活動を行うことが主な役割です。京都議定書の第一約束期間が始まり、道民へ温暖化防止への理解を求めていく場は増えています。こうしたニーズに対応し、多くの人に地球温暖化問題をわかりやすく伝え、実践活動を広めていくために、推進員に対して、最新の情報や知識などの情報提供、意見交換などの機会を設けています。

#### ■第1回研修会

[日時] 2007年6月9日(土)13:00～10日(日)13:00

[場所] 環境サポートセンター

[内容] 講演:「温暖化は進んでいるのか! オホーツク海からの警告!」

講師:青田 昌秋 氏(北海道立オホーツク流氷科学センター所長)

講演に加え、「参加者同士の自己紹介」、「北海道の地球温暖化対策と推進員の役割」、「推進員活動に関わる各主体からの情報提供(北海道、環境省北海道地方環境事務所、推進員、センター)」、「推進員活動を道民に伝えるために」などのワークショップを実施しました。

[参加者] 推進員 18名、北海道7名、北海道地方環境事務所3名



#### ■第2回研修会

[日時] 2007年9月23日(日)8:30～20:00

[会場] 稚内市内

[内容] 稚内市内の施設見学および地元活動団体よりの情報提供を受けました。

「稚内公園サテライト(燃料電池等)」見学

案内:三浦 規光 氏(稚内新エネルギー研究会、現推進員)

「風のがっこう稚内」見学

案内:湊谷 宣夫 氏(稚内新エネルギー研究会室長)

「大規模太陽光発電」、「雪氷冷熱低温貯蔵庫」見学

案内:三浦 規光 氏(稚内新エネルギー研究会、現推進員)

小川 善一 氏(株式会社大林組道北営業所所長)

菊池 工 氏(株式会社山本建設代表取締役)

「宗谷岬ウインドファーム」見学

案内:高瀬 達秀 氏(株式会社ユーラスエナジー宗谷 宗谷岬ウインドファーム発電所所長)

講演:「稚内新エネルギー研究会が目指すもの」

講師:長谷川 伸一 氏(稚内新エネルギー研究会会長、前推進員)

「風のがっこう稚内について」

説明:佐々木 政憲 氏(NPO法人風のがっこう稚内理事長)

[参加者] 推進員17名、北海道5名、北海道地方環境事務所2名



#### ■第3回研修会

[日時] 2008年2月2日(土)13:00～3日(日)13:00

[会場] 環境サポートセンター

[内容] 講演:

「IPCC第4次報告から学ぶ地球温暖化最新情報～科学者からの警鐘～」

講師:西岡 秀三 氏(独立行政法人国立環境研究所参与)

講演:「話し方・伝え方・聞き方」講座(理論編、実践編)

講師:鏡 宏一 氏(フリーアナウンサー)





このほか、参加者(推進員、北海道、北海道地方環境事務所、センター)による意見交換、情報交換等を行いました。

[参加者] 推進員24名、北海道9名、北海道地方環境事務所2名

- 温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業  
6-4「温暖化防止一村一品応援プロジェクト」参照

## 7-2 平成19年度北海道札幌市地域におけるESTモデル事業推進のための普及啓発委託業務 (北海道地方環境事務所委託業務)

事業3年目となる今年度は、札幌市の運輸部門における二酸化炭素削減に向けて、自動車の適正利用や地球温暖化防止の重要性を訴え、公共交通機関等の環境低負荷型な移動手段の選択を促すねらいで下記事業を実施しました。

### (1) ラッピングバスによる公共交通利用促進

市内の路線バスに「地球温暖化について考える」「自動車から公共交通に乗り換える」趣旨のラッピングを施し、自動車(特にマイカー)のドライバーに対し啓発を行いました。

[実施期間] 2007年9月1日(土)～2008年3月31日(月) 7ヶ月間

[使用台数] 1台(北海道中央バス平岡営業所所属車両)



### (2) イベントでのラッピングバスのお披露目

ラッピングバスを多くの市民に周知することやマスコミへの取材を依頼するため、下記イベントにおいて展示を行いました。

[イベント日時] 2007年9月2日(日) 13:00～17:00

[イベント名] クルマをおいて、まちをあるこう!!

[開催場所] さっぽろシャワー通り(中央区南2・3条西3丁目)

[来場者] 3000人



### (3) その他の内容

- \* 札幌市内コミュニティFM7局同時放送によるPR 同日13:00～14:30  
放送テーマ「クルマをおいて、まちをあるこう!!」
- \* 地球温暖化ふせぎ隊体験エコ教室～交通バージョン
- \* 啓発パンフレットの配布と原画展の実施
- \* 公共交通利用啓発ポスター作成

## 7-3 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務(北海道地方環境事務所請負業務)

前年度に引き続き、環境省北海道環境パートナーシップオフィス(EPO北海道)の運営業務を実施しました。(5-1を参照、詳しくは別途報告書あり)

## 7-4 平成19年度企業の社会的責任(CSR)に基づく環境パートナーシップ促進業務 (北海道地方環境事務所委託業務)

環境への負荷の少ない持続可能な社会の実現のためには、国民・民間団体・事業者等の様々な主体が、それぞれの担うべき役割と意義を理解し、適切な役割分担の下で相互に協力・連携を図り、自発的に環境保全活動に取り組んでいくこと、いわゆる「環境パートナーシップ」の構築が重要です。その主体の中でも、事業者の「企業の社会的責任(CSR)」に基づく積極的な環境保全活動の取組が期待されており、今後の取組の発展のためにも、環境パートナーシップによる効果的な環境保全活動の推進が望まれています。

2006年度、北海道地方環境事務所と財団法人北海道環境財団が共同で行った『北海道内における企業の社会的責任(CSR)に基づく社会貢献活動の現況・意向調査』でも多くの企業が環境保全活動に関心がありながらも、な

かなかCSR活動に取り組めていない状況が明らかになりました。そのほか環境保全活動に取り組んでいる事業者でも、環境パートナーシップを組んで活動している事業者はあまりありませんでした。



2年目となる2007年度は、環境保全団体や施設などに対して、企業の社会的責任(CSR)に基づく環境パートナーシップの現況と意向に関する調査を行いました。道内の環境保全団体・施設640件に調査票を送付し、191件から回答を得ましたが、企業と環境パートナーシップを組んで活動を拡大している例は、必ずしも多くはありませんでした。また、企業のCSR活動と環境パートナーシップを組んでいる道内の環境保全活動について、ヒアリングによりその状況を把握しました。これらの情報を背景に、環境保全活動とCSRとのパートナーシップ構築の必要条件や、そのマッチングのために必要とされる「場」や「仕組み」について、道内の環境保全活動団体、企業、中間支援組織、行政担当者等による意見交換をワークショップ形式で開催しました。

調査で得られた知見は、報告書として取りまとめ、回答団体・施設等に配布したほか、環境省北海道環境パートナーシップオフィスのホームページで公開しています。

## 7-5 平成19年度「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」広報等業務 (北海道地方環境事務所請負業務)

「国連持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」が2005年から開始され、2006年3月には、わが国における実施計画が関係省庁連絡会議において決定されました。地域におけるESDの先進的な取組の支援は、同計画の中で「ESDの10年」の初期段階における重点的取組事項とされており、環境省はその具体化のために促進事業を実施しています。この促進事業は、地域の多様な主体が環境とその他の関連分野を組み合わせ合わせた教育活動を行い、その成果を地域と全国へ発信することにより、地域に根ざしたESDを全国に普及することを目的としています。

2年目となる今年、北海道での採択団体であるNPO法人当別エコロジカルコミュニティの取組を広報する成果報告会を環境省北海道環境パートナーシップオフィスとともに実施しました。開催に当たっては、札幌でESDに取り組んでいるNPO法人さっぽろ自由学校「遊」とタイアップし、同NPOによるESD担い手ミーティングの一環として実施しました。

### 第一部 環境省ESDモデル事業報告会～地域の取組とその成果～

[日時] 2008年2月9日(土)13:00～16:00

[場所] 札幌エルプラザ2階 環境研修室

[内容] 事例報告

(1) 大阪府豊中市における「とよなかESD」の取組

報告:とよなか国際交流協会 榎井 縁 氏

(2) 当別町における当別エコロジカルコミュニティの取組

報告:NPO法人当別エコロジカルコミュニティ 理事長 山本 幹彦 氏

(3) 参加者間での意見交換

コーディネーター:NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J) 佐々木 雅一 氏

[参加者] 36名

[主催] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス

(参考)第二部 持続可能な開発のための教育(ESD)・担い手ミーティングin北海道

[日時] 2008年2月9日(土)16:15～18:00・2月10日(日)10:00～12:30

[場所] 札幌エルプラザ2階 環境研修室

[内容]

(1) ワークショップ・その1「各地における取組とその課題の共有」

(2) ワークショップ・その2「今後に向けて～道内でのESD推進の方向性を見いだす」

(1)、(2)ともファシリテーター:

NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議(ESD-J) 佐々木 雅一 氏

[参加者] 30名

[主催] NPO法人さっぽろ自由学校「遊」、財団法人北海道国際交流センター(HIF)、  
NPO法人当別エコロジカルコミュニティ

[共催] 札幌市環境プラザ指定管理者:財団法人札幌市青少年女性活動協会

[協力] 環境省北海道環境パートナーシップオフィス

## **7-6 平成19年度自然再生事業再生普及行動計画運営管理業務 (北海道地方環境事務所請負業務)**

国内の先導的なプロジェクトとして環境省や国土交通省などにより進められている釧路湿原自然再生事業を市民参加や環境教育とともに進めていくための5年間を対象とする行動計画に基づき、2007年度の具体的な取り組みをとりまとめ、関連する情報収集提供業務と進行管理を実施しました。また、本行動計画のためのワーキンググループの開催、2007年度の具体的な取り組み素案作成、展示用パネルやパンフレット等啓発資材の作成等を実施しました。

今年度は新たに、圏域の学校等における環境教育の推進に向けて、アンケート・ヒアリング調査やその結果に基づく推進方策の検討や情報共有のためのワーキンググループの運営等も実施しています。

## **7-7 平成19年度エネルギー環境総合戦略調査費等委託 家庭における省エネ手法向上調査事業 (経済産業省北海道経済産業局委託事業)**

6-3-4「北国の！冬の省エネキャンペーン」参照

## **7-8 「ほくでん環境講演会」開催に伴う企画・運営業務（北海道電力株式会社委託業務）**

北海道電力株式会社における環境リレーション活動の一環として、同社が主催する環境に関する講演会の開催・運営業務を受託し、下記の内容で実施しました。

[日時] 2008年1月31日(水) 18:30～20:00

[場所] 札幌国際ビル8F 国際ホール(札幌市中央区北4条西4丁目1)

[講師] 岸 隆幸 氏(札幌管区气象台 技術予報課 調査官)

[司会] 橋本 登代子 氏(有限会社ボイスオブサッポロ)

[参加者] 104名

[主催] 北海道電力株式会社

[後援] 北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

## **7-9 「第五回ほくでん環境ステークホルダーミーティング」企画・運営に関する業務委託 (北海道電力株式会社委託業務)**

北海道電力株式会社における環境リレーション活動の一環として同社が主催する環境ステークホルダーミーティングの企画・運営に関する業務を受託し、実施しました。

## **7-10 平成19年度千歳市こども環境教室実施業務（千歳市委託業務）**

千歳市が主催する「こども環境教室実施業務」の委託を受け、千歳市内に在住の小学生高学年を対象として、地球温暖化防止をテーマとする体験型プログラムを実施しました。

[日時] 2007年12月15日(土) 13:30～16:00

[場所] 東雲会館1階 1号会議室(千歳市東雲町1丁目10)

[参加者] 40名

[主催] 千歳市

## 資 料 編

寄附行為  
組織図  
役員名簿  
事務局員名簿  
会計関連資料  
寄付御礼



# 財団法人北海道環境財団寄附行為

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、財団法人北海道環境財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地に置く。

(目的)

第3条 この法人は、道民及び事業者の自発的な環境保全活動の促進をめざし、環境に関する情報の提供や環境保全活動への支援などに関する事業を行い、もって北海道の良好な環境の保全と快適な環境の維持、創造に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 環境保全に関する普及啓発事業
- (2) 環境に関する情報提供事業
- (3) 環境学習の推進に関する事業
- (4) 環境保全活動等の支援に関する事業
- (5) 中小企業者等が行う環境保全施設等の整備に要した資金の債権管理に関する事業
- (6) 道民、事業者及び行政の環境保全活動に関する連携及び調整
- (7) 環境サポートセンターの設置・管理運営
- (8) 環境保全活動に関する調査研究事業
- (9) 地球温暖化防止活動推進センターに関する事業
- (10) その他目的達成のために必要な事業

## 第2章 財産及び会計

(財産の構成)

第5条 この法人の財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 寄附金品
- (3) 財産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) 賛助会費
- (6) その他の収入

(財産の種別)

第6条 この法人の財産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
- (2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
- (3) 理事会において運用財産から基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(財産の管理)

第7条 この法人の財産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

2 基本財産のうち現金は、郵便官署又は銀行等への定期預金、信託会社への信託、国債又は公社債の購入等安全確実な方法で保管しなければならない。

(基本財産の処分の制限)

第8条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、事業の遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経、かつ、北海道知事の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

(経費の支弁)

第9条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

(環境ストック基金)

第10条 この法人は、道民の自発的な環境保全活動を促進するため、環境ストック基金（以下「基金」という。）を設置する。

2 基金は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 基金とすることを指定して寄附された財産

(2) 理事会において基金に繰り入れることを議決した財産

3 基金の運用から生じる収入は、次の事業に要する経費に充てるものとする。

(1) 環境保全活動等の支援に関する事業

(2) その他環境保全活動促進のために必要な事業

4 第7条の規定は基金の管理について、第8条の規定は基金の処分について準用する。

(事業計画及び予算)

第11条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算に関する書類は、理事長が作成し、毎会計年度開始前に、理事会の議決及び評議員会の同意を経て、北海道知事に届け出なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。

(暫定予算)

第12条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第13条 この法人の事業報告及び決算は、毎会計年度終了後3ヶ月以内に理事長が事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等として作成し、監事の監査を受け、理事会の議決及び評議員会の同意を経て、その会計年度終了後3ヶ月以内に北海道知事に報告しなければならない。この場合において、資産の総額に変更があったときは、2週間以内に登記し、登記簿謄本を添えるものとする。

(長期借入金)

第14条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経て、北海道知事に届け出なければならない。

(義務の負担及び権利の放棄)

第15条 予算で定めたものを除き、この法人が新たに義務を負担し、又は権利を放棄しようとするときは、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経て、北海道知事に届け出なければならない。

(会計年度)

第16条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### 第3章 役員

#### (種類及び定数)

第17条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 10人以上15人以内
- (2) 監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、1人を専務理事とする。

#### (選任等)

第18条 理事及び監事は、評議員会において選任する。

- 2 理事は、互選により、理事長及び専務理事を選任する。
- 3 理事、監事及び評議員は、相互にこれを兼ねることができない。
- 4 理事のいずれか1名とその親族その他特別の関係にあるものの合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。
- 5 監事は、相互に親族その他特別な関係にある者であってはならない。
- 6 理事に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記簿謄本を添え、遅滞なくその旨を北海道知事に届け出なければならない。
- 7 監事に異動があったときは、遅滞なくその旨を北海道知事に届け出なければならない。

#### (職務)

第19条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 専務理事は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この寄附行為に定めるところにより、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
  - (1) 財産及び会計を監査すること。
  - (2) 理事の業務執行状況を監査すること。
  - (3) 財産、会計及び業務の執行について、不正の事実を発見したときは、これを理事会及び評議員会又は北海道知事に報告すること。
  - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会及び評議員会の招集を請求し、又は招集すること。

#### (任期)

第20条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

#### (解任)

第21条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会及び評議員会において、それぞれ及び評議員現理事現在数定数の3分の2以上の議決に基づいて解任することができる。この場合において、理事及び評議員会において議決する前に、当該役員に対し弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に耐えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

#### (報酬等)

第22条 役員は、無給とする。ただし、常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 役員には、費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第4章 理事会

### (構成)

第23条 理事会は、理事をもって構成する。

### (権能)

第24条 理事会は、この寄附行為に定めるもののほか、この法人の業務に関する重要な事項を議決する。

### (開催)

第25条 理事会は、次のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事現在数の3分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第19条第4項第4号の規定により、監事から招集の請求があったとき又は監事が招集したとき。

### (招集)

第26条 理事会は、第19条第4項第4号の規定により、監事が招集する場合を除き、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号又は第3号の規定により請求があったときは、30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

### (議長)

第27条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

### (定足数)

第28条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

### (議決)

第29条 理事会の議事は、この寄附行為に別に定めるもののほか、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (書面表決等)

第30条 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、その理事は出席したものとみなす。

### (議事録)

第31条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在員数
- (3) 出席した理事の数及びその氏名（書面表決者及び表決委任者の場合にあつては、その旨を付記すること。）
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。



## 第5章 評議員及び評議員会

### (評議員)

第32条 この法人に、評議員15人以上20人以内を置く。

2 評議員は、理事会において選出し、理事長が委嘱する。

3 第20条から第22条までの規定は、評議員について準用する。この場合において、これらの規定中「役員」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

### (評議員会)

第33条 評議員会は、評議員をもって構成する。

2 評議員会は、第19条第5項第4号の規定により監事が招集する場合を除き、理事長が招集する。

3 評議員会の議長は、評議員会において互選する。

4 評議員会は、この寄附行為に別に定めるもののほか、理事長の諮問に応じ、必要な事項について審議し、助言する。

5 第28条から第31条までの規定は、評議員会について準用する。この場合において、これらの規定中「理事会」とあるのは「評議員会」と、「理事」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

6 前各項に定めるもののほか、評議員会の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第6章 顧問

### (顧問)

第34条 理事長は、理事会及び評議員会の同意を得て、顧問を若干名委嘱することができる。

2 顧問は、理事長の相談に応ずる。

## 第7章 賛助会員

### (賛助会員)

第35条 財団の目的に賛同し、会費を納入する個人及び法人その他の団体を賛助会員とする。

2 賛助会員は、財団からの情報及び資料の提供を受けることができる。

3 前2項に定めるもののほか、賛助会員に関する基本的な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第8章 寄附行為の変更及び解散

### (寄附行為の変更)

第36条 この寄附行為は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経、かつ、北海道知事の認可を得なければ変更することができない。

### (解散)

第37条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定によるほか、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を得て解散することができる。

### (残余財産の処分)

第38条 この法人が解散のときに有する残余財産は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経、かつ、北海道知事の許可を得て、この法人と類似の目的を有する団体に寄附するものとする。

## 第9章 事務局

### (設置等)

第39条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び職員を置く。

3 事務局長及び職員は、理事長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(備付け書類及び帳簿)

第40条 事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備えておかなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 理事、監事、評議員及び職員の名簿及び履歴書
- (3) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (4) 寄附行為に定める機関の議事に関する書類
- (5) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類
- (6) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (7) その他必要な帳簿及び書類

## 第10章 雑則

(委任)

第41条 この寄附行為に定めるもののほか、この法人の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- 1 この寄附行為は、この法人の設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員及び評議員は、第18条第1項及び第2項並びに第32条第2項の規定にかかわらず、設立者の定めるところとし、その任期は、第20条第1項及び第32条第3項の規定にかかわらず、平成11年3月31日までとする。
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第11条の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の会計年度は、第16条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成10年3月31日までとする。

附則

この寄附行為は、寄附行為の変更認可のあった日から施行する。

附則

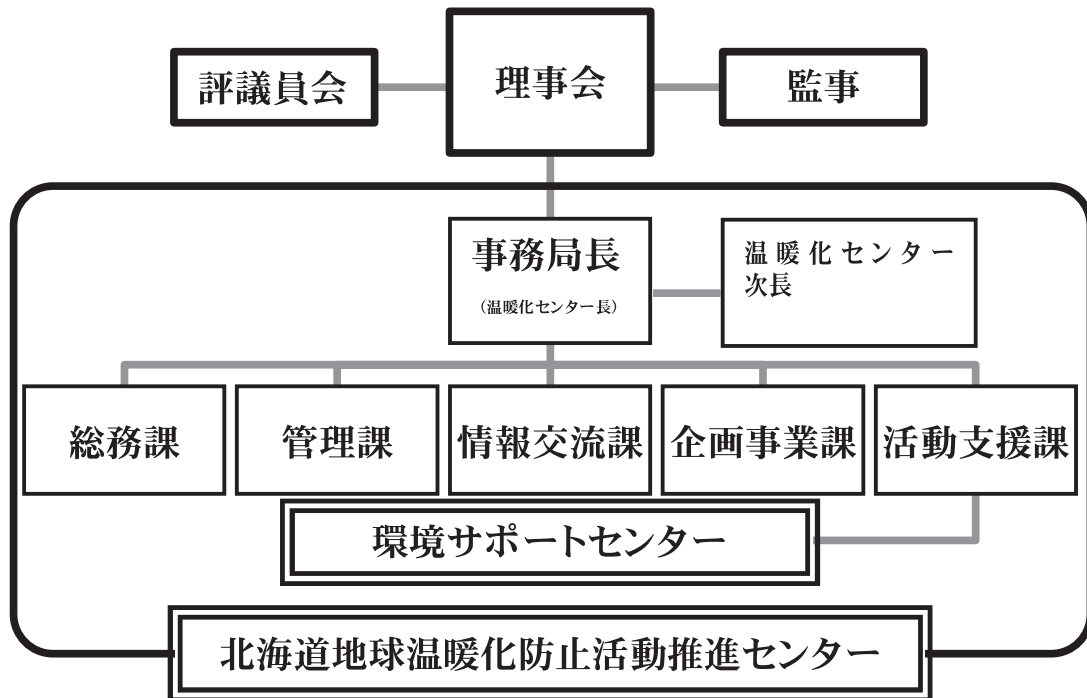
この寄附行為は、寄附行為の変更認可のあった日から施行する。

附則

この寄附行為は、寄附行為の変更認可のあった日から施行する。

## 組織図

(2008年3月31日時点)



## 役員名簿

(2008年3月31日時点)

|      |         |                         |
|------|---------|-------------------------|
| 理事長  | 辻井 達一   |                         |
| 専務理事 | 齋藤 卓也   |                         |
| 理事   | 五十嵐 智嘉子 | (社) 北海道総合研究調査会 常務理事企画室長 |
| 〃    | 大津 和子   | 北海道教育大学札幌校 教授           |
| 〃    | 大和田 勲   | 北海道経済連合会 専務理事           |
| 〃    | 九津見 奈保美 | 北広島消費者協会 顧問             |
| 〃    | 佐々木 義之  | (社) 北海道商工会議所連合会 常務理事    |
| 〃    | 佐々木 亮子  | (有) アールズセミナー 代表取締役      |
| 〃    | 南原 一晴   | 北海道町村会 常務理事             |
| 〃    | 古市 徹    | 北海道大学大学院工学研究科 教授        |
| 〃    | 前泉 洋三   | 北海道ガス株式会社 代表取締役社長       |
| 〃    | 村上 光男   | 北海道農業協同組合中央会 農業振興部長     |
| 〃    | 吉田 かよ子  | 北星学園大学短期大学部 教授          |
| 監事   | 鳥井 真司   | 北海道中小企業団体中央会 専務理事       |
| 〃    | 檜森 聖一   | (株) 北洋銀行 常務取締役          |

|     |       |                             |
|-----|-------|-----------------------------|
| 評議員 | 石塚 祐江 | (特非) 環境り・ふれんず 理事            |
| 〃   | 小川 巖  | エコ・ネットワーク 代表                |
| 〃   | 小沢 正晴 | (株) 北海道新聞社 事務局次長            |
| 〃   | 金子 正美 | 酪農学園大学 教授                   |
| 〃   | 久保田 修 | (株) 電通北海道 マーケティングプランニング部 部長 |
| 〃   | 小林 三樹 | 藤女子大学 教授                    |
| 〃   | 塩谷 敏雄 | (社) 北海道観光連盟 専務理事            |
| 〃   | 高木 晴光 | 北海道自然体験学校NEOS 代表            |
| 〃   | 谷口 二郎 | (社) 北海道産業廃棄物協会 会長           |
| 〃   | 中井 和子 | 中井景観デザイン研究室 代表              |
| 〃   | 中村 和子 | (株) 丸中物産 代表取締役社長            |
| 〃   | 野谷 悦子 | (有) うつぐみ 取締役社長              |
| 〃   | 船水 尚行 | 北海道大学大学院工学研究科 教授            |
| 〃   | 八木 宏樹 | 小樽商科大学商学部 教授                |
| 〃   | 山田 三夫 | (財) 日本野鳥の会札幌支部 支部長          |

## 職員名簿

(2008年3月31日時点)

|         |     |                     |
|---------|-----|---------------------|
| 事務局長    |     | 齋藤 卓也               |
| 温暖化センター | 次長  | 山田 准司 (HES推進機構事務局長) |
| 総務課・管理課 | 課長  | 茂野 均 (兼務)           |
|         | 非常勤 | 安住 真紀子 (兼務)         |
| 情報交流課   | 課長  | 内山 到                |
| 企画事業課   | 課長  | 久保田 学               |
|         | 主事  | 山本 泰志               |
| 活動支援課   | 課長  | 谷村 公伸               |
|         | 主任  | 松本 真司               |
|         | 主事  | 安保 芳久               |
|         | 非常勤 | 山田 祐子               |
|         | 非常勤 | 杉山 里江子              |
| 契約職員    |     | 内田 しのぶ              |
|         |     | 吉村 暢彦               |
|         |     | 鎌田 めぐみ              |



## 2007年度の収支概要（一般会計）

（2007年4月1日～2008年3月31日）

（単位：円）

| 科 目           | 決 算 額       |
|---------------|-------------|
| < 経常収益 >      |             |
| 1 基本財産運用益     | 74,573      |
| 2 基金運用益       | 2,041,774   |
| 3 受取会費        | 736,000     |
| 4 事業収益        | 54,428,532  |
| 5 受取補助金等      | 94,712,580  |
| 6 受取寄附金       | 709,723     |
| 7 施設貸出収益      | 395,500     |
| 8 雑収益         | 1,051,774   |
| 経常収益計         | 154,150,456 |
| < 経常費用 >      |             |
| 1 補助事業費       | 94,712,580  |
| 2 受託事業費       | 42,906,636  |
| 3 環境保全活動促進事業費 | 5,875,406   |
| 経常費用計         | 143,494,622 |

### 寄付御礼

2007年度は、札幌東急会開催「体験！秋のエコツアー」参加者ならびに札幌東急会の皆様、進風株式会社様、環境を考える町民の会（別海町）開催「不都合な真実上映会」参加者ならびに環境を考える町民の会の皆様、ほくでん電化生活情報館マドレ様、奈良英代様、昭和新山国際雪合戦実行委員会様から寄付金をいただきました。

当財団の活動にご理解・ご支援を賜りましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 2007年度活動報告書

---



編集・発行

財団法人北海道環境財団／北海道地球温暖化防止活動推進センター

〒060-0004

札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

TEL : 011-218-7811 FAX : 011-218-7812

URL : <http://www.heco-spc.or.jp>

---

発行 2008年7月